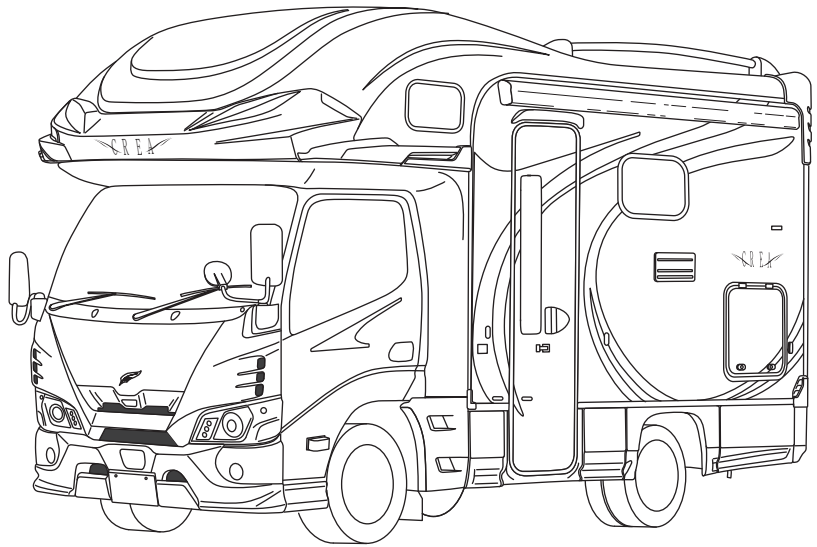


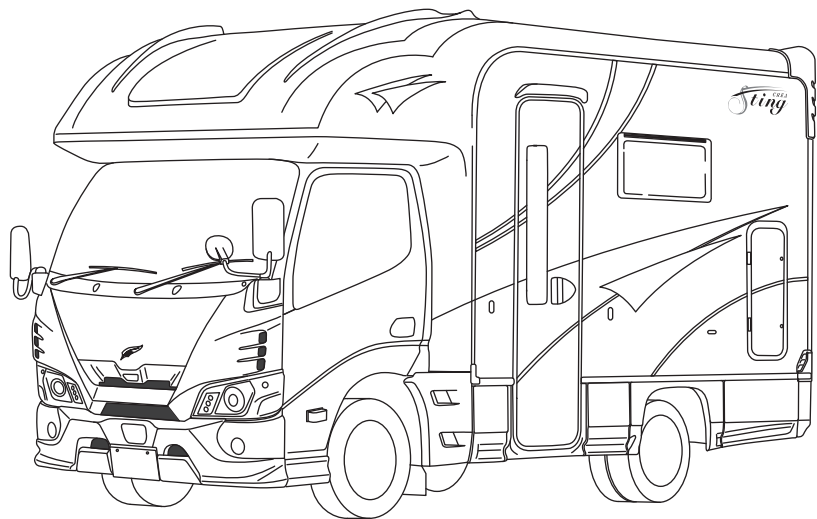


# 取扱説明書

CREA  
5.3W  
HYPER  
*Evolution*



CREA  
*Sting*  
5.3W  
HYPER  
*Evolution*



Total customize builder  
株式会社 ナッツ



## はじめに

この度は、ナッツRVのキャンピングカーをお買い上げ  
いただきまして誠にありがとうございます。

本書は各部の取り扱い、装備などの  
必要な情報を説明しています。

お客様に安全にお使いいただくために使用前に  
必ずすべてお読みください。

## お願い

- 本書はベース車両の取扱説明書と共に常にお車に保管してください。
- 本書はクリアのイラストをベースに説明しています。クリア・スティングはバンク形状が異なりますので、ご容赦ください。
- ベース車両の取り扱いについては、ベース車両専用の取扱説明書を参照してください。
- 仕様の変更は予告無く実施されることがあります。あらかじめご了承ください。
- ご不明な点は担当サービスマンにおたずねください。



# 目次



はじめに

目次


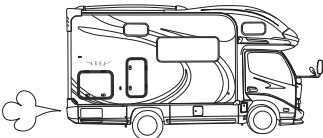
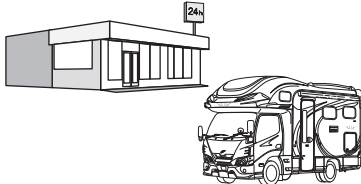



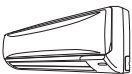




ハイパーエボリューションシステムの充電方法と賢い電気の使いかた

ハイパーエボリューションシステムにおけるバッテリー管理のしかた

|                                   |     |       |                         |           |
|-----------------------------------|-----|-------|-------------------------|-----------|
| 1. 本書について                         | ... | 1     | 9. ギャラー                 |           |
| 2. 必ずお読みください                      |     |       | ・給水タンク、排水タンク            | ... 31~33 |
| ・お出かけ前の各装備品の点検                    | ... | 2,3   | ・混合水栓                   | ... 34    |
| ・走行中の注意                           | ... | 4,5   | ・ガスコンロ                  | ... 35,36 |
| ・駐車中の注意                           | ... | 5~8   | ・ACボイラー <sup>Op</sup>   | ... 37,38 |
| ・その他の注意                           | ... | 8~9   | ・水抜きのみかた                | ... 39,40 |
| 3. 外装の説明                          | ... | 10    | ・冷蔵庫                    | ... 41~43 |
| 4. 内装の説明                          | ... | 11    | ・電子レンジ                  | ... 44    |
| 5. エントランスドア                       |     |       | 10. 空調                  |           |
| ・エントランスドアロック                      | ... | 12    | ・FFヒーター                 | ... 45~46 |
| ・網戸、シェード                          | ... | 13    | ・マックスファンベンチレーター         | ... 47    |
| 6. 窓、バゲッジドア                       |     |       | ・家庭用エアコン                | ... 48    |
| ・アクリル窓                            | ... | 14    | 11. スペアタイヤ、工具           | ... 49    |
| ・網戸、シェード                          | ... | 15    | 12. オプション <sup>Op</sup> |           |
| ・バゲッジドア                           | ... | 16    | ・サイドオーニング               | ... 50~54 |
| 7. シート、ベッドセッティング                  |     |       | ・ソーラーチャージャー             | ... 55    |
| ・シートベルト                           | ... | 17    | ・アンテナ                   | ... 56    |
| ・ダイネットテーブル                        | ... | 18    | ・シャワー、洗面台               | ... 57    |
| ・ダイネットベッドセッティング                   | ... | 19    | ・カセットトイレ                | ... 58    |
| ・バンクベッドセッティング                     | ... | 20    | ・サイクルキャリア               | ... 59    |
| ・エントランスマット、通路用補助マット <sup>Op</sup> | ... | 21    | 13. トラブルシューティング         | ... 60~62 |
| 8. 電源、照明                          |     |       | 14. 電気系統図               | ... 63    |
| ・メインスイッチ、室外灯スイッチ                  | ... | 22    | 店舗案内                    | 裏表紙       |
| ・バッテリー残量計                         | ... | 23,24 |                         |           |
| ・スイッチパネル(集中スイッチ)                  | ... | 25    |                         |           |
| ・外部電源と外部充電装置                      | ... | 26    |                         |           |
| ・ACコンセント、インバーター                   | ... | 27    |                         |           |
| ・DCソケット、USBコンセント                  | ... | 28    |                         |           |
| ・ジャンプスタートスイッチ                     | ... | 29    |                         |           |
| ・ブレーカー、ヒューズ                       | ... | 30    |                         |           |
| ・カットスイッチ <sup>Op</sup>            | ... | 30    |                         |           |

# ハイパーエボリューションシステムの充電方法と

ハイパーエボリューションシステムにおけるシチュエーション別の各スイッチの状態と家庭用エアコンの使いかたを一覧にまとめています。お出かけの際にご参考ください。

| 操作するもの   | 出発前                        | 移動(走行)  |      | 休憩(駐車)   |      |
|--|----------------------------|---|------|--|------|
|  |                            | 使いたい  | 使わない | 使いたい   | 使わない |
|  出発前                        |                            |  移動(走行) |      |  休憩(駐車) |      |
|  |                            | 電子機器を   |      | 電子機器を  |      |
|  | —                          |   |      |  |      |
|  エンジン                       | —                          | 運転  |      | アイドリング   |      |
|  メインスイッチ<br>→P.22           | —                          | ON (点灯)   | —    | ON (点灯)  | —    |
|  インバータースイッチ<br>→P.27      | —                          | ON (点灯)   | —    | ON (点灯)  | —    |
|  使用する電子機器                 | —                          | ON  | OFF  | ON   | OFF  |
|  ケアモードスイッチ<br>次ページ        | —                          | 消灯 (ラピッドモード)  |      | 消灯 (ラピッドモード)   |      |
|  充電容量切替スイッチ<br>次ページ       | 100%充電                     | 100%充電  |      | 100%充電   |      |
|  外部電源コード<br>→P.26         | 接続している場合は出発前に抜く            | —   |      | —  |      |
| 備考   | —                          | 充電しながら電子機器を使うことができます。※走行環境と電子機器の消費量によります。   |      | 電子機器を使わないため充電が速くなります。  |      |
|  サブバッテリーのカットスイッチ<br>→P.30 | ON (OFFにしている場合は、出発前にONにする) | ON  |      | ON   |      |




| 宿泊(駐車)  |               |   |               | 帰路(走行)   |               | 帰宅  |        |
|---|---------------|---|---------------|--|---------------|---|--------|
|            |               |   |               |  |               |  |        |
| 外部コンセントが<br>利用できる   |               | 外部コンセントが<br>利用できない  |               | 電子機器を  |               | 外部コンセントが  |        |
| 電子機器を<br>使いたい   | 電子機器を<br>使わない | 電子機器を<br>使いたい   | 電子機器を<br>使わない | 使いたい   | 使わない          | 利用できる   | 利用できない |
| 停止  |               |   |               | 運転   |               | 停止  |        |
| ON<br>(点灯)  | —             | ON<br>(点灯)  | —             | ON<br>(点灯)   | OFF<br>(消灯)   | OFF<br>(消灯)   |        |
| OFF<br>(消灯)   | —             | ON<br>(点灯)  | —             | ON<br>(点灯)   | ON<br>(点灯)    | OFF<br>(消灯)   |        |
| ON  | OFF           | ON  | OFF           | ON   | OFF           | OFF   |        |
| 消灯<br>(ラピッドモード)   |               |   |               | 消灯<br>(ラピッド<br>モード)  | 点灯<br>(ケアモード) | 消灯<br>(ラピッドモード)   |        |
| 100%充電  |               | 100%充電  |               | 100%充電   |               | 80%充電   |        |
| 接続する  |               | —   |               | —  |               | 接続する  | —      |
| 外部電源に接続した状態で、長時間メインSWを「ON」する場合は、充電容量切替SWを「80%充電」にしてください。「100%充電」にしていると、バッテリーに負荷がかかり劣化を早めます。 |               | 家庭用エアコンを使用する場合は、サブバッテリーを使用するため、就寝前に満充電にしておくことをおすすめします。満充電にしておくことで家庭用エアコンが朝まで使えるようになります。 |               | バッテリー残量が少ない場合はラピッドモード、あまり減っていない場合はケアモードでの走行がお勧めですが、エアコンなどを使用する場合はラピッドモードで走行してください。 |               | 長期間使用する予定がない場合は、サブバッテリーの劣化を抑えるため、月に1回充電容量切替スイッチを「100%充電」にしたうえで満充電にしてください。           |        |
| ON  |               |   |               | ON   |               | ON<br>(外部コンセントやソーラーチャージャーを利用できない場合のみ、サブバッテリーを満充電にした後OFFにする)                         |        |

# ハイパーEVOシステムにおけるバッテリー管理のしかた

ハイパーエボリューションシステムは、オルタネーターの発電能力を最大限に引き出してサブバッテリーに充電するとともに、リチウムイオンバッテリーを最適な状態で管理することで、お出かけ時の電力問題を解消する画期的な電装システムです。

## ハイパーエボリューションシステムにおけるバッテリー管理のしかた

- 車両保管時はバッテリーが50%~80%を維持するようにしてください。
- 使用時はバッテリーが30%以下にならないようにしてください。  
(0%まで使用できますが、バッテリーへの負荷が大きくなり、劣化が早まる原因になります。)
- 長期間使用しない場合でも月に1回充電容量切替スイッチを「100%充電」にしたうえで満充電にしてください。
- 自宅コンセントによる外部充電またはソーラー充電ができない場合は、サブバッテリーのカットスイッチ  を「OFF」にしてください。 [→P.30](#)

## ケアモード/ラピッドモード(充電速度切替スイッチ)

### いたわり充電したいとき

ケアモード  
(ケアモードスイッチが点灯しているとき)



ケアモードは、常に一定の電流でサブバッテリーをいたわりながら充電することが可能なモードです。

### 急速充電したいとき

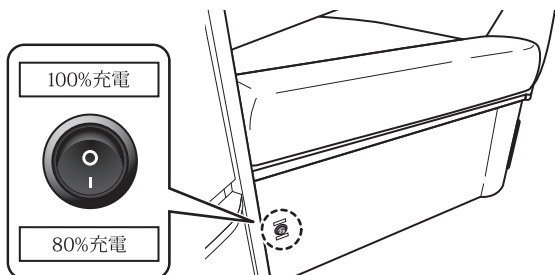
ラピッドモード  
(ケアモードスイッチが消灯しているとき)



走行時は、エンジンの回転数が高く、オルタネーターからたくさんの電気が発生します。  
ラピッドモードは、発生した電気を利用してサブバッテリーを急速充電できるモードです。

## 充電容量切替スイッチ(100%充電↔80%充電)

- リチウムイオンバッテリーの特性として、満充電にしないほうが寿命が延びるといわれています。充電容量切替スイッチを「80%充電」にしておくことで、サブバッテリーの容量が80%を超えたときに自動で充電を停止します。さらに、電子機器の使用または待機電力による消費でサブバッテリーの容量が75%以下になると、自動で充電を再開します。  
充電容量切替スイッチを「100%充電」にし、バッテリー容量をフル活用することも可能です。



充電容量切替スイッチ

セカンドシート

### 充電時間の目安

(サブバッテリー残量50%から電子機器を使用せず100%まで充電した場合)

ラピッドモード: 2~3時間

ケアモード: 5~6時間

※充電容量切替スイッチが「80%充電」で

ラピッドモード充電をしているときは、

「100%充電」時よりも充電速度が遅くなります。

# ハイパーEVOシステムにおけるバッテリー管理のしかた

## 電気とバッテリーの関係

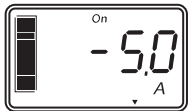
- 電流：A(アンペア)とは・・・電気の流れの事です。  
数字が大きいほどたくさんの電流が流れ、  
数字が小さいほど少ない電流が流れていることを表しています。
- 電圧：V(ボルト)とは・・・電流を流そうとする力の事です。  
数字が大きいほど電流を流そうとする力が大きく、  
数字が小さいほど電流を流そうとする力が小さくなります。
- 容量：Ah(アンペアアワー)とは・・・バッテリーの容量を表しています。  
サブバッテリー1個当たりの容量は100Ahです。

サブバッテリーが満充電(400Ah)のとき、  
使用している「現在の電流(A)」が1Aであれば、およそ400時間で消費されます。  
使用している「現在の電流(A)」が40Aであれば、およそ10時間で消費されます。

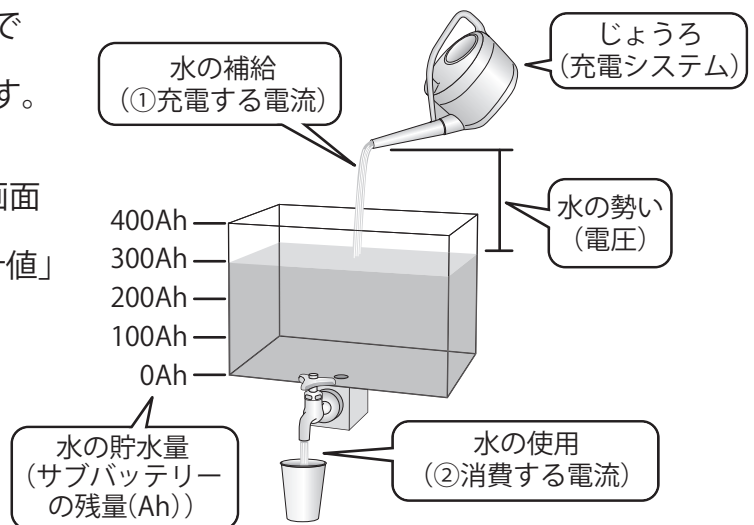
## 電流のイメージ

電流の流れる様子は、目には見えないので  
わかりにくいですが、右図のように  
水の流れに例えると分かりやすくなります。

バッテリー残量計の「現在の電流(A)」の画面  
表示には、  
「①充電する電流と②消費する電流の合計値」  
が表示されます。  
例：(①15A)+(②-20A)=-5A



バッテリー残量計 → P.23



## リチウムイオンバッテリーの寿命

- ・バッテリーの寿命は10年程度を想定していますが、使用環境等によって大きく変動します。
- ・バッテリーは、使用中に容量が徐々に低下し、寿命末期に達します。

# 1. 本書について



本書には下記のマークを用いています。  
それぞれの意味は次のとおりです。



注意事項



オプション装備



操作上の  
ワンポイント



注意事項のマークがあるところは特にご注意ください。誤った使いかたをされると、大事故に繋がるおそれがございますので、必ずお守りください。





## 必ずお読みください

快適なオートキャンプをお楽しみいただくため、必ずお守りいただきたい事項を各項目別にまとめました。ご使用前に必ずお読みください。

## ② お出かけ前の各装備品の点検



ユーザー様が日頃行う点検・整備は下記です

サブバッテリーの残量チェックおよび充電

目次より「ハイパーEVOシステムにおけるバッテリー管理のしかた」をご参照ください。

バッテリー残量計 → P.23,24

各機器の作動チェック

混合水栓やガスコンロ、その他の電子機器 → 目次より該当ページをご確認ください

給水タンク・排水タンク周りの水漏れチェック、水抜き

給水タンク、排水タンク → P.31～33

水抜きのしかた → P.39～40

タイヤの空気圧チェック

適正空気圧 → P.3

長期使用しない場合は下記のお手入れを行ってください

外部充電コードを家庭用コンセントに接続し、充電したままにしてください。

外部電源コード → P.26

家庭用コンセントに接続できない場合：

- ・ソーラーチャージャー<sup>Op</sup>を装備している場合は、日の当たる場所に駐車してください。ソーラーチャージャー<sup>Op</sup> → P.55
- ・ソーラーチャージャー<sup>Op</sup>を装備していない場合は、サブバッテリーのカットスイッチ<sup>Op</sup>を「OFF」にしてください。

カットスイッチ<sup>Op</sup> → P.30

月に1度はサブバッテリーを100%満充電にしてください。

給水タンク・排水タンクおよび配管の水抜きを行ってください。

水抜きのしかた → P.39～40

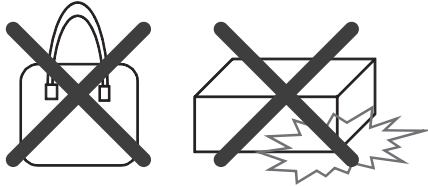
タイヤへの負担の偏りを防ぐため、時折車の位置を変えてください。

定期的に車内の空気の入れ替えを行ってください。

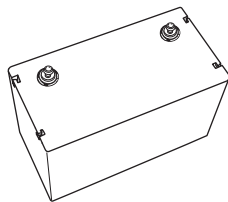
## 2. お出かけ前の各装備品の点検



走行前には、ベース車両の取扱説明書に従い「運転前の点検」を必ず行ってください。

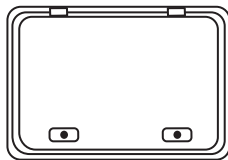


荷物は確実に固定された状態で収納してください。走行中にすべり落ちて、運転席へ飛び出したりすると危険です。



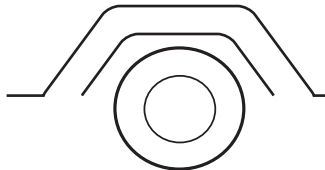
サブバッテリーは充電されていますか？お出かけ前に十分な残量があることを確認してください。

バッテリー残量計 → P.23



バゲッジドアが開いていませんか？バゲッジドアは必ずロックしてください。走行中に開いてしまうと大変危険です。

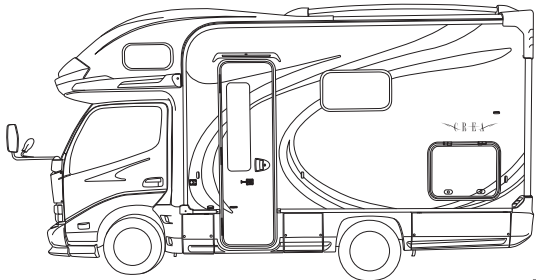
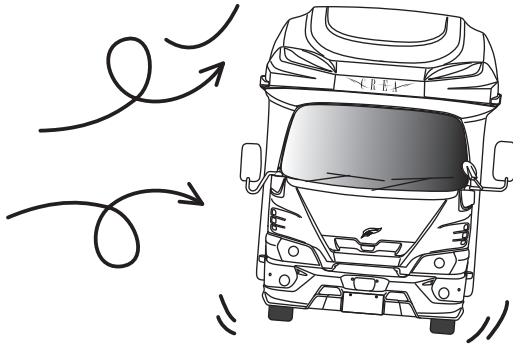
バゲッジドアの閉めかた → P.16



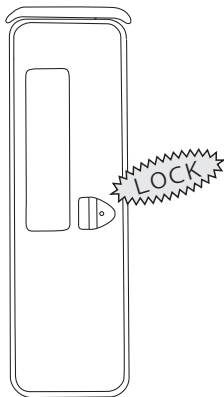
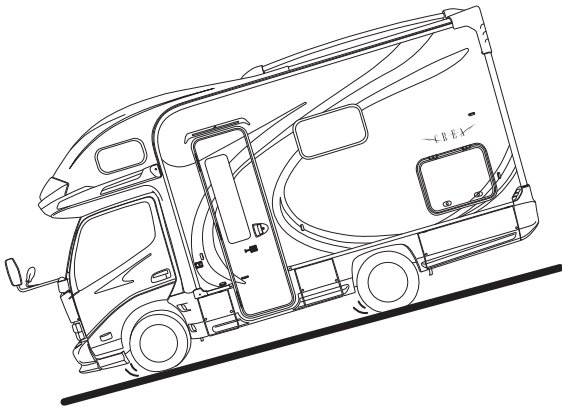
1ヶ月1度、お出かけ前に空気圧の点検をしてください。推奨空気圧は下記表を参考にしてください。

| キャンピングカー推奨空気圧                     |             |                    |             |
|-----------------------------------|-------------|--------------------|-------------|
| ブリヂストン R202(純正)                   |             | ブリヂストン ECOPIA R710 |             |
| タイヤサイズ                            |             |                    |             |
| 前輪                                | 後輪          | 前輪                 | 後輪          |
| 175/75R15                         | 175/75R15   | 185/75R15          | 185/75R15   |
| 103/101N LT                       | 103/101N LT | 106/104L LT        | 106/104L LT |
| タイヤ空気圧 (kPa(kg/cm <sup>2</sup> )) |             |                    |             |
| 600(6.00)                         | 600(6.00)   | 600(6.00)          | 600(6.00)   |

## 2. 走行中の注意



LONG



### 横風

普通車に比べて横風の影響を受けやすいのでご注意ください。



### 横揺れ・縦揺れ

普通車に比べて車重が重く、重心も高いため、横揺れや縦揺れが大きくなりますのでご注意ください。



### オーバーハング

後輪からボディ最後部までが長いので、段差のある所などには十分お気をつけください。また、急ハンドルはできるだけ避けてください。



### ブレーキ

長い下り坂ではフットブレーキだけで走行せず、エンジンブレーキを併用してください。

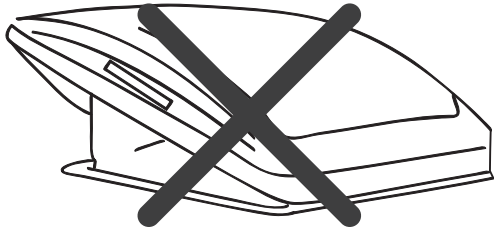


### エントランスドア

走行中は、エントランスドアを必ずロックしてください。また、ステップには立たないでください。

エントランスドアロック→P.12

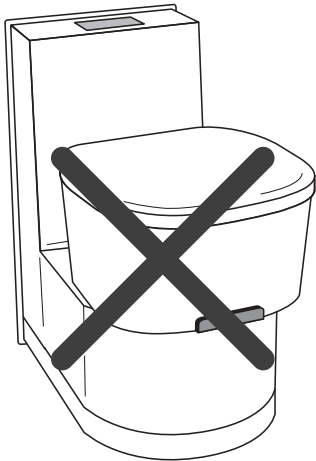
## 2. 走行中の注意



### ルーフベント(換気扇)

走行時ベントカバーは開けたままにしないでください。

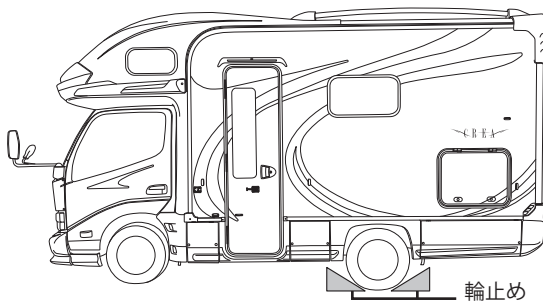
マックスファンベンチレーター → P.47



### マルチルーム

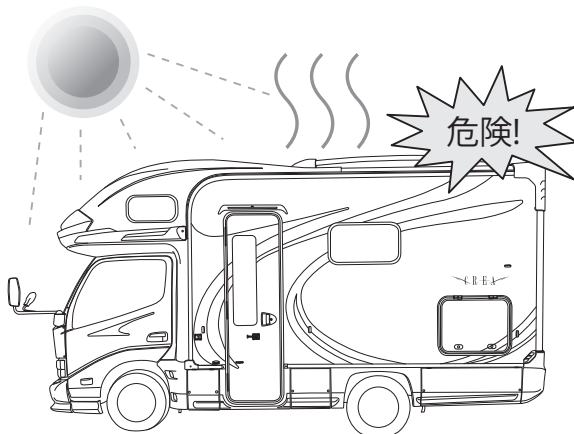
走行中はマルチルーム内の各装備は使用しないでください。急ブレーキ・急ハンドルなどの際に体を支える事が困難なため危険です。

## 2. 駐車中の注意



### 車の駐車

車は平坦で安全なところに駐車し、必ずパーキングブレーキをかけ、輪止めしてください。



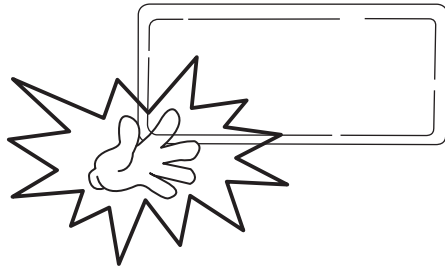
### 車内の換気

窓を閉め切ったままでは車内が高温になります。換気を十分に行ってください。

※特に炎天下では、換気を行っていても車内で小さなお子様を寝かせておくのは大変危険ですので、おやめください。

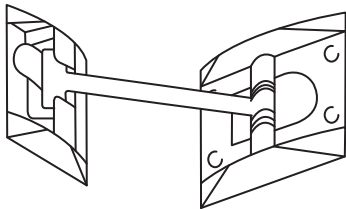


## 2. 駐車中の注意



### ドア・窓の開閉

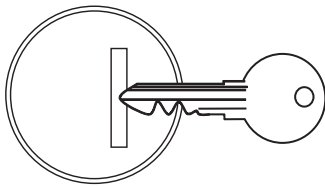
ドアや窓の開閉時には手や指を挟まないように注意してください。



### エントランスドア

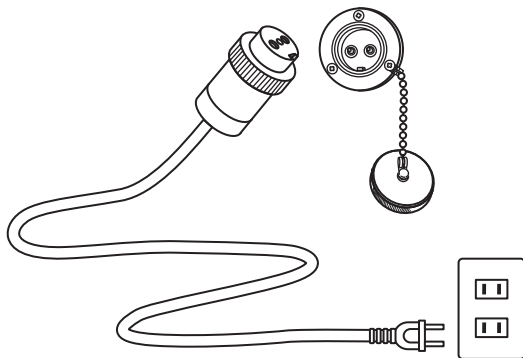
エントランスドアを閉める際は、必ずドアロックが解除されていることを確認してください。ロックが掛かった状態で無理に引くとロックの取り付け部が破損します。

エントランスドアの固定のしかた → P.13



### カギ

間違ったカギで無理にロック操作するとキーシリンダーを破損し、扉の開閉ができなくなりますのでご注意ください。



### 外部電源コード

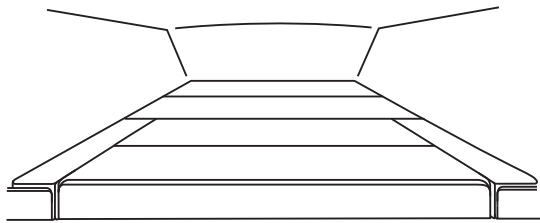
付属されている外部電源コードを差し込む際はメタルコネクターのキーを合わせ、必ずロックリングを締めてください。

また、外部コンセントに通電された状態でメタルコネクターの取り付け、取りはずしは行わないでください。感電の原因になります。

発車時は外部電源コードを抜いていることを確認してください。

外部電源コード → P.26

## 2. 駐車中の注意



特にお子様はご注意ください。



### ベッド

ベッドメイクをする際は指や手を挟まないように注意してください。  
また、ベッドの上で跳ねたり暴れたりすると大変危険です。破損の原因にもなりますのでご注意ください。

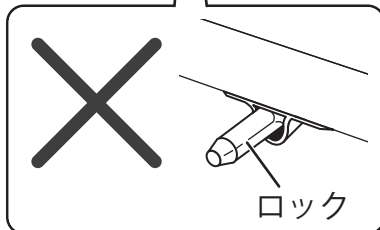
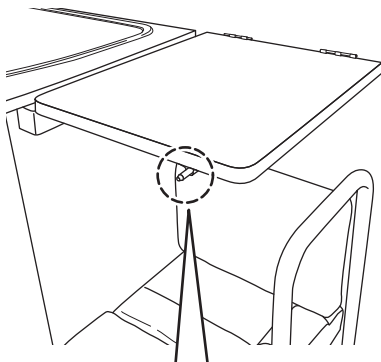
バンクベッドセッティング→P.20



### ダイネットテーブル

ダイネットテーブルの上に乗ったり、重たい物を載せたりしないでください。

ダイネットテーブル→P.18



### アシストテーブル

アシストテーブルの上に重たい物を載せないでください。走行中は必ず格納してください。  
また、使用する際はロックを出したままにしないでください。(洋服などが引っかかって転倒するおそれがあります。)

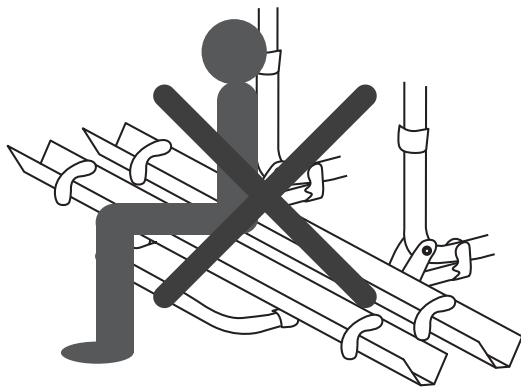
## 2. 駐車中の注意



### リヤラダー

Op  
option

リヤラダーの昇降の際は落下に十分注意してください。特に雨の日など濡れているときは滑りやすいので注意してください。  
また、お子様の昇降は危険ですのでおやめください。



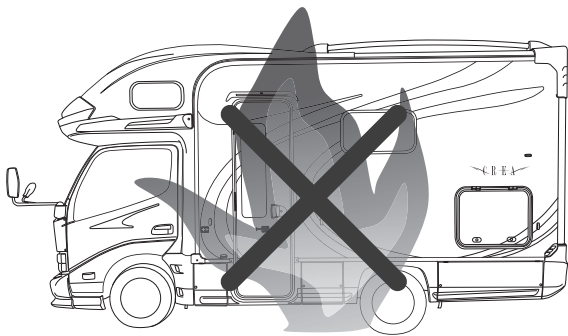
### サイクルキャリア

Op  
option

サイクルキャリアに座ったり、ぶら下がったりしないでください。破損したり落下する可能性があります。

サイクルキャリア → P.59

## 2. その他の注意



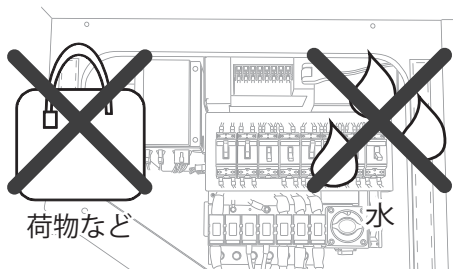
### 電気配線

安全のため電気設備の改造はおやめください。  
誤った配線は火災を招くおそれがあります。



### 電気機器

機器の取り付けかたが適切でない場合、電子制御部品に悪影響を及ぼす事がありますので、取付の際は販売店にご相談ください。



荷物など

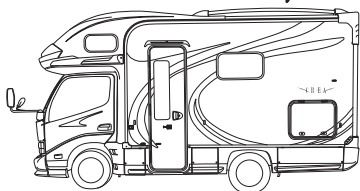
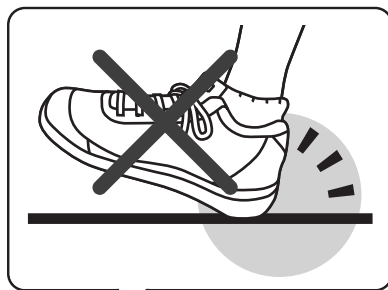
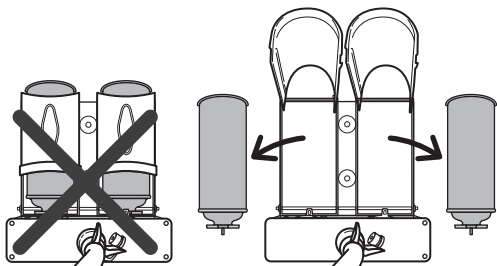
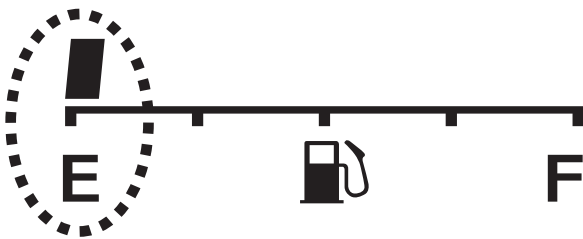
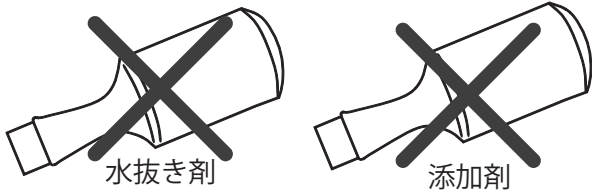
水



### 電気設備周辺

電気設備が設置されているところに物を入れたり、水が掛かってしまう事がないように注意してください。

## 2. その他の注意



### 燃料

燃料タンクに添加剤や水抜き剤を混入しないでください。FFヒーターが破損します。  
また、給油中はすべての設備、機器を完全に停止してください。引火・発火の原因になります。



### FFヒーター

燃料計の目盛りが点滅している状態でFFヒーターを使用しないでください。燃料が少ない状態で使用するとガス欠の原因となります。



### ガスボンベ

ガスコンロを使用しないときは、ガスボンベをガス供給器から取りはずし、車外の涼しい場所で保管してください。



### 洗車

高圧洗浄機は車内へ水が浸入するおそれがありますので、使用しないでください。

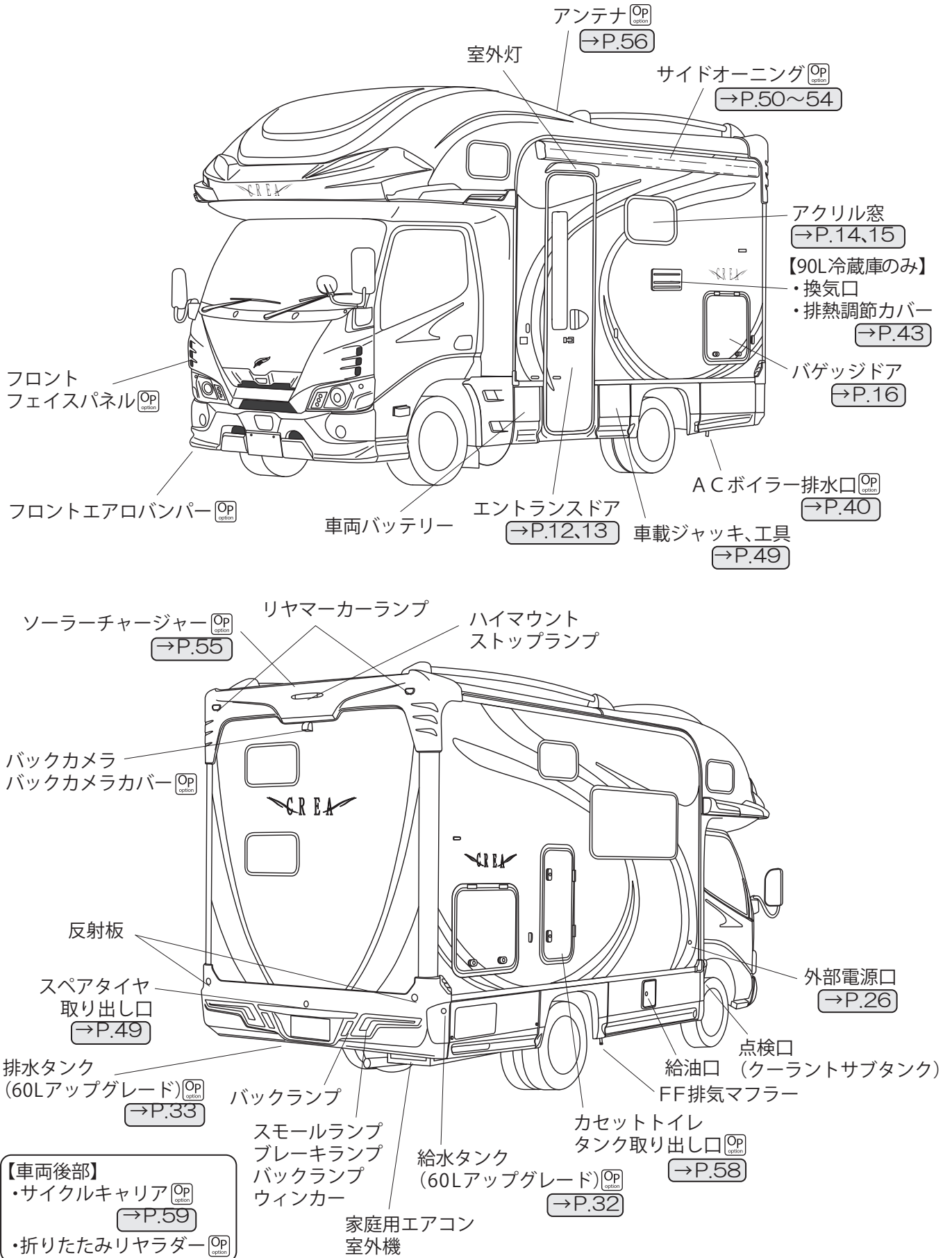


### ルーフ

転落を避けるため、ルーフの上では立ち上がらないでください。  
また、ルーフ面には局所的に強い荷重がかからないようにしてください  
(ルーフ面はガラス繊維が格子状に編み込まれた強度の高いFRPを使用していますが、かかと歩行などにより局所的に強い荷重がかかると、パネルが凹む恐れがあります。)

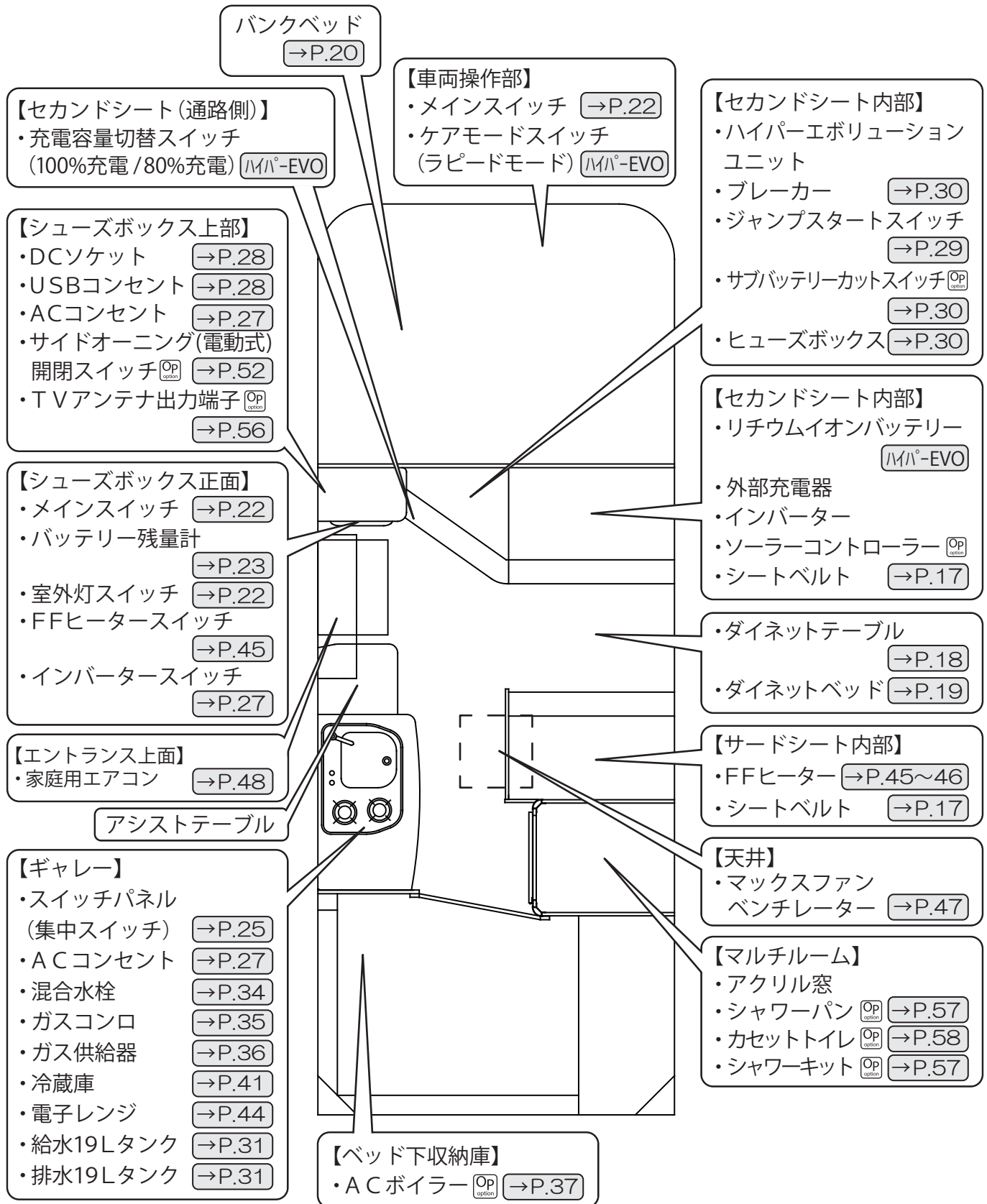


### 3. 外装の説明



※本書はクレアのイラストをベースに説明しています。

## 4. 内装の説明



## 5. エントランスドアロック



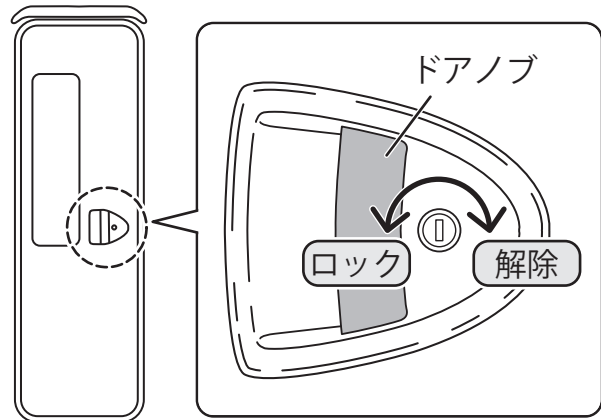
### 車外からの操作方法

#### <ロック&解除のしかた>

- ・エントランスドア用のカギを挿して、左に回すとロックが掛かり、右へ回すと解除できます。

#### <ドアの開けかた>

- ・ドアを開ける場合はドアノブを手前に強く引いてください。



### 車内からの操作方法

#### <ロックのしかた>

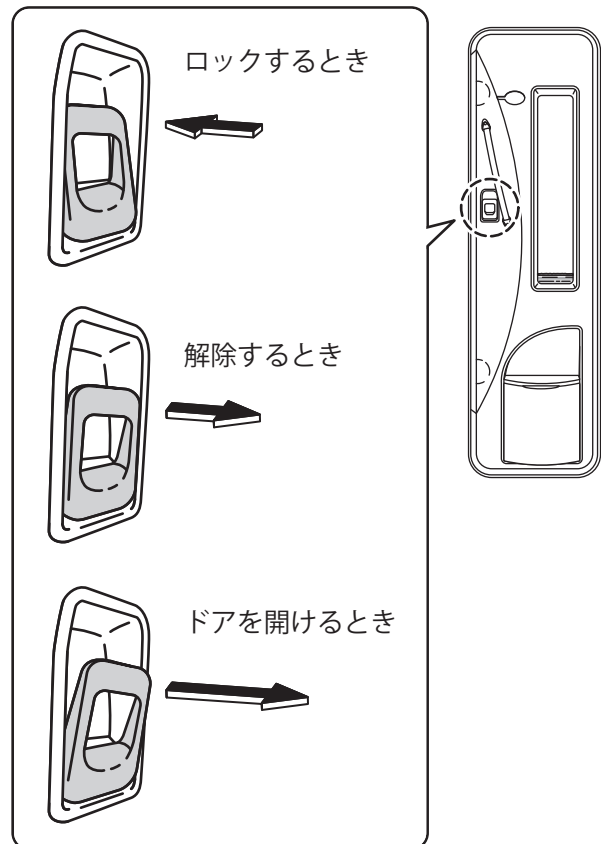
- ・レバーの上部を押し込みます。

#### <解除のしかた>

- ・レバーの上部を手前に引きます。

#### <ドアの開けかた>

- ・レバーの上部を強く手前に引きます。



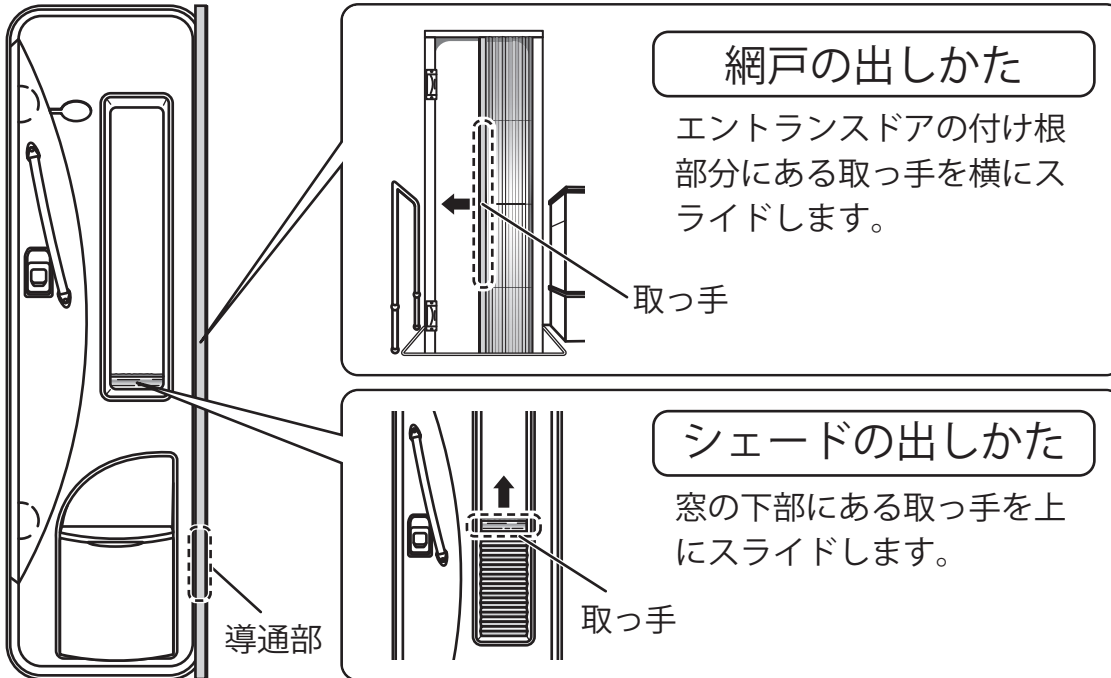
- ・操作中に指を挟まないように注意してください。
- ・走行中は必ずロックしてください。走行中の振動等でドアが突然開くと重大な事故を招くおそれがあります。
- ・車両のリモコンにてロックを解除したあと、運転席や助手席のドアやエントランスドアを開けなかったときは、約30秒後に自動的に施錠されます。

## 5. 網戸、シェード

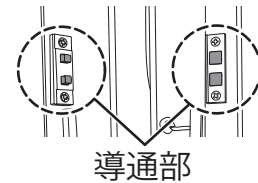


### 網戸、シェードの使いかた

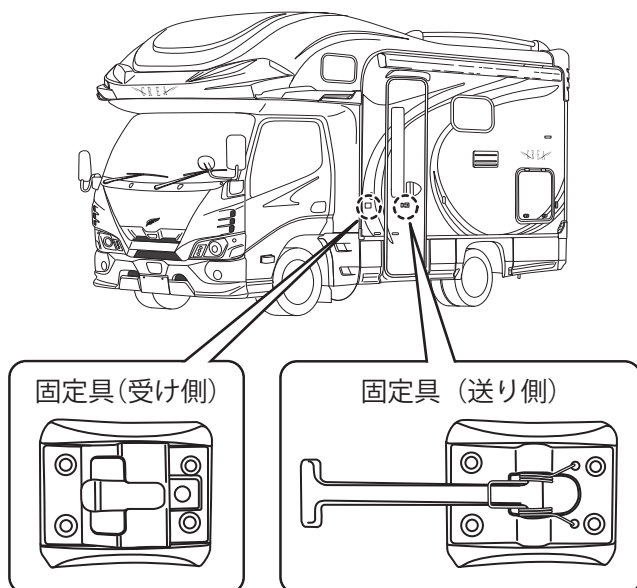
エントランスドアの内側には、網戸とシェードが取り付けられています。



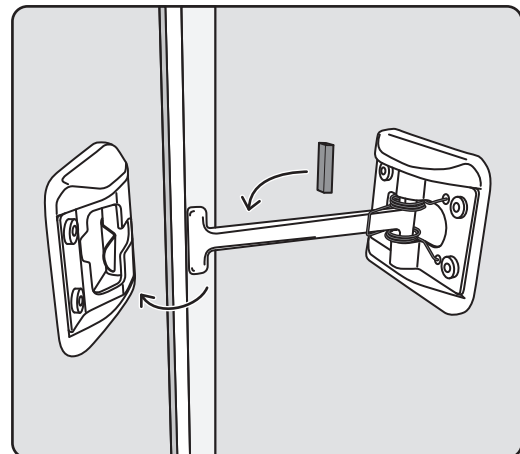
- ・導通部が汚れていると、ドアロック/アンロックされない場合があります。汚れている場合は汚れをきれいに拭き取ってください。
- ・網戸を使用する場合は、エントランスドアを固定してください。(強風によりエントランスドアが閉まり、網戸が破損する原因になります。)



### エントランスドアの固定のしかた



エントランスドアを全開にして、固定具(送り側)を固定具(受け側)にはめ込みます。



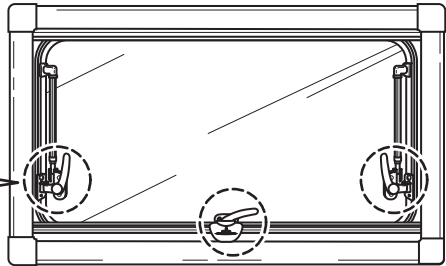


## 6. アクリル窓

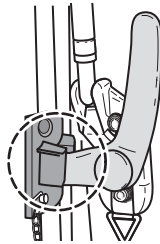
### アクリル窓の開閉のしかた

窓を開けるときは、レバーを回し、ロックを解除してから開けてください。

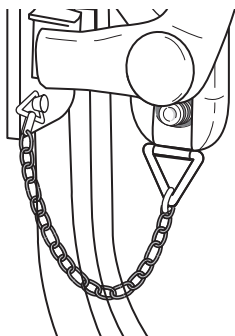
解除  
レバー  
ロック



- 温度調節や換気をする場合は、右図の位置で固定してください。



### アクリル窓の開閉防止チェーンについて



本車両には走行中のアクリル窓開閉防止の為、窓にチェーンを取り付けています。走行中にアクリル窓を開けると、風圧により窓が破損するおそれがありますので、アクリル窓の開閉は、駐車中のみ行ってください。



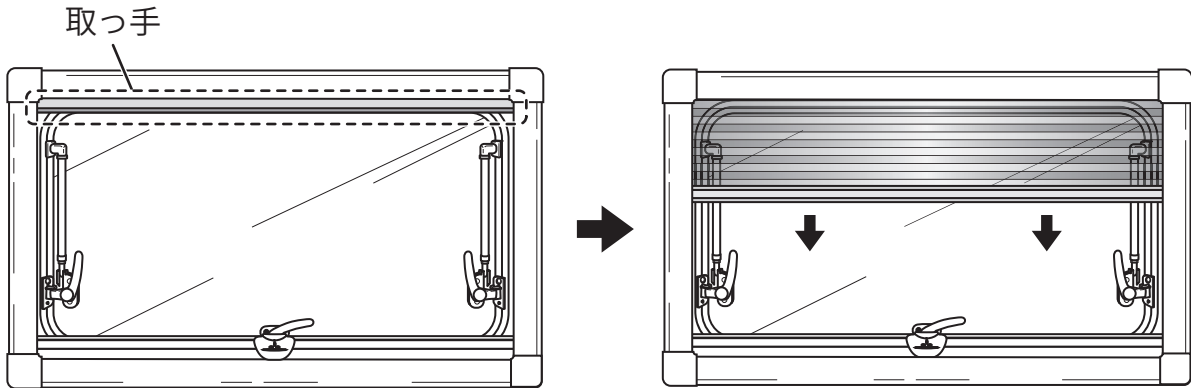
- 窓の開け過ぎに注意してください。  
(部品がはずれて、落下する可能性があります。)
- 道路運送車両法により 250mm 以上開閉する窓へは開閉防止対策が義務付けられています。  
継続車検を受けられる場合は、開閉防止チェーンが必要です。

## 6. 網戸、シェード



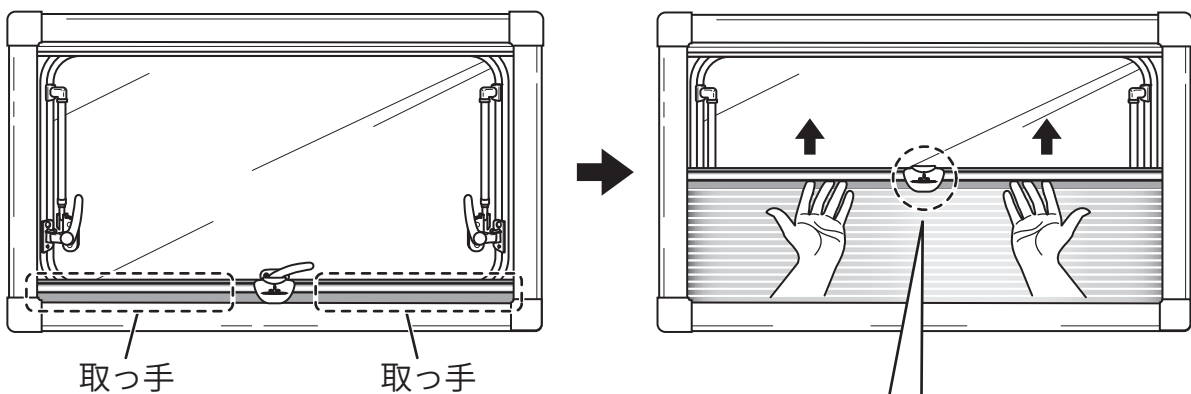
### 網戸の出しかた

取っ手を両手で持って、下にスライドします。



### シェードの出しかた

取っ手を両手で持って、上にスライドします。



この部分をつまんでシェードを上げ下げしないでください。  
ジョイント器具が破損する原因になります。

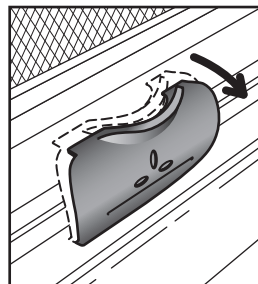


ジョイント器具

この部分は、取っ手ではありません。  
網戸とシェードをジョイントする  
ための器具です。

### ジョイントの解除のしかた

網戸とシェードのジョイントを解除  
したいときは、ジョイント器具を手前  
に引いてください。

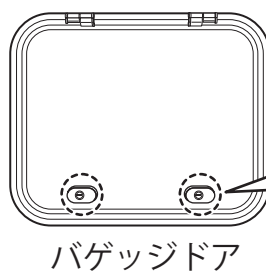


## 6. バゲッジドア



### バゲッジドアの開けかた

- ① バゲッジドア用のカギを挿し込み、シリンダーを反時計回りに回します。  
(シリンダーを回すと、シリンダー部分だけが手前に飛び出します。)



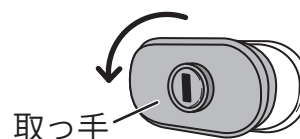
バゲッジドア

シリンダー



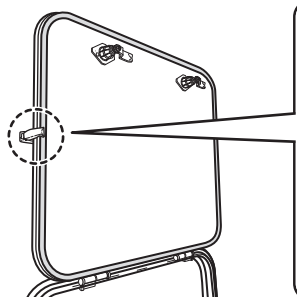
シリンダーが手前に飛び出ると解除

- ② カギを抜いて、取っ手を反時計回りに回します。  
(すべての取っ手を回すとバゲッジドアが開きます。)



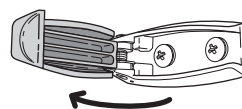
取っ手

### バゲッジドアを開けたまま固定する場合

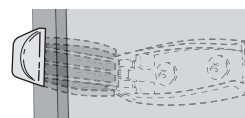


固定具

ボディに取り付けられた固定具を使用します。

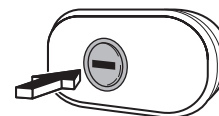
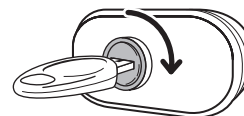
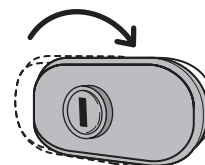


- ① 固定具を開きます。
- ② バゲッジドアを持ち上げ、固定具に引っ掛けると、固定できます。



### バゲッジドアの閉めかた

- ① バゲッジドアをボディに押し当てながら、取っ手を時計回りに回します。
- ② カギを挿し込み、シリンダーを時計回りに回します。
- ③ カギを抜いて、シリンダーを「カチッ」と鳴るまで指で押し込みます。  
(押し込んだシリンダーが手前に戻らなければ、ロック完了です。)



シリンダーを押し込むとロック



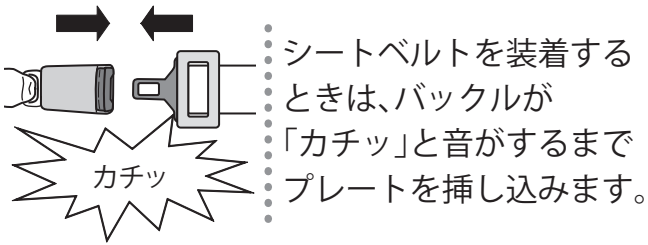
カギを挿し込んだままシリンダーを押し込んでロックしないでください。  
(カギが破損する原因になります。)

## 7. シートベルト

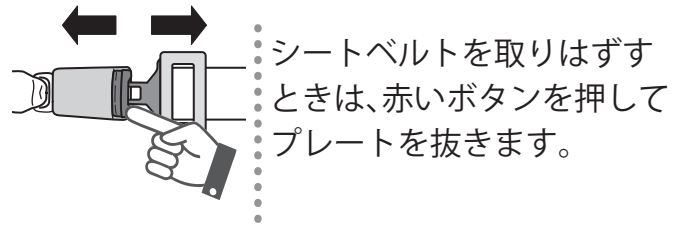


- 安全のため、走行中は必ずシートベルトを装着してください。
- シートベルトを装着するときは、シートに深く腰掛け、必ず腰骨にかかる位置に長さを調節してください。腹部にかけると万一の時に強い圧迫を受け、危険な場合があります。

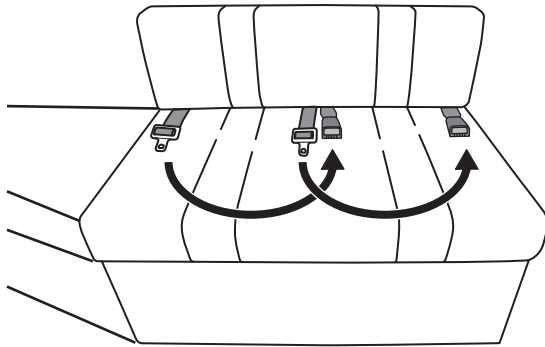
### シートベルトの締めかた



### シートベルトのはずしかた



### セカンドシート



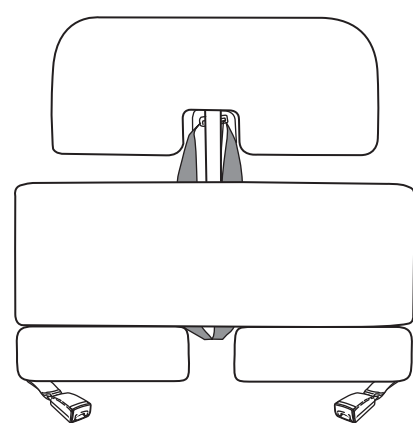
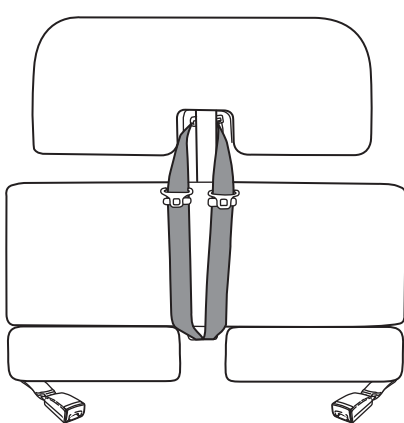
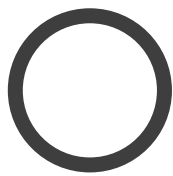
セカンドシートの内部に2点式のシートベルトが取り付けられています。



走行時にセカンドシートを使用する場合は、必ずシートベルトを着用してください。

### サードシート

サードシートのシートベルトは、背もたれに隠れないように注意してください。

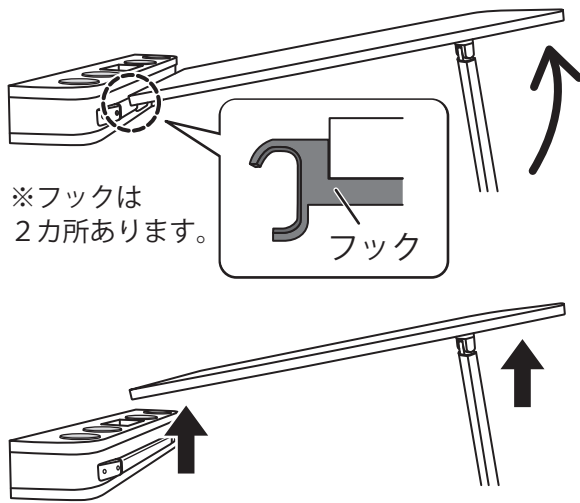






## 7. ダイネットテーブル

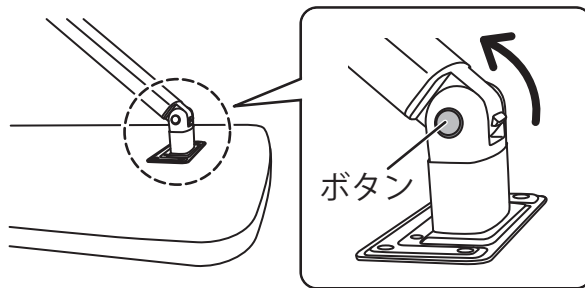
### ダイネットテーブルの取りはずしかた



①ダイネットテーブルの脚が付いているほうを持ち上げて、ダイネットテーブルを傾けます。(ダイネットテーブルを傾けるとフックがはずれます)

②そのまま、ダイネットテーブルを垂直に持ち上げると、ダイネットテーブルを取りはずすことができます。

### ダイネットテーブルの脚の折りたたみかた



脚の付け根にあるボタンを押しながら、脚を折りたたみます。(完全に折りたたむと脚は自動的に固定されます。)

※脚と出す場合もボタンを押しながら操作してください。

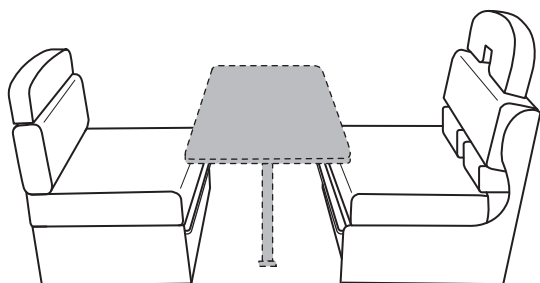


テーブルの上に乗ったり、重いものを載せたりしないでください。  
また、走行時はテーブルの上に何も置かないでください。

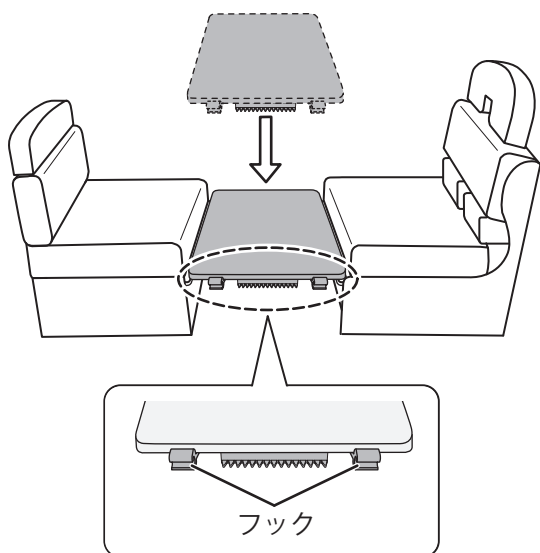
## 7. ダイネットベッドセッティング



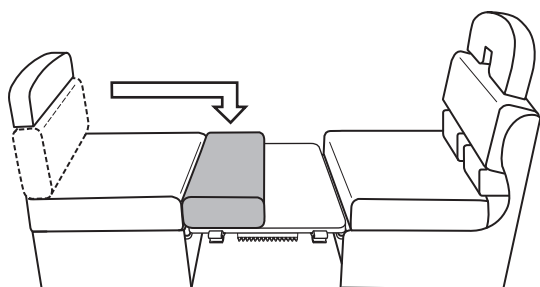
### ダイネットベッドセッティングのしかた



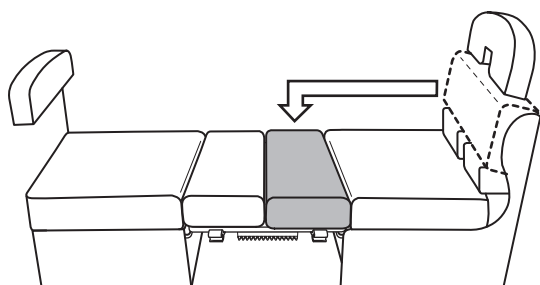
- ① ダイネットテーブルを取りはずし、脚を折りたたみます。→P.18



- ② ダイネットテーブルのフックが付いているほうを通路側に向けて、セカンドシートとサードシートの上にセットします。



- ③ セカンドシートの背もたれをはずし、ダイネットテーブルの上に置きます。



- ④ サードシートの背もたれをはずし、同様にダイネットテーブルに、はめ込みます。

※ダイネットに戻す際は逆の手順で行ってください。



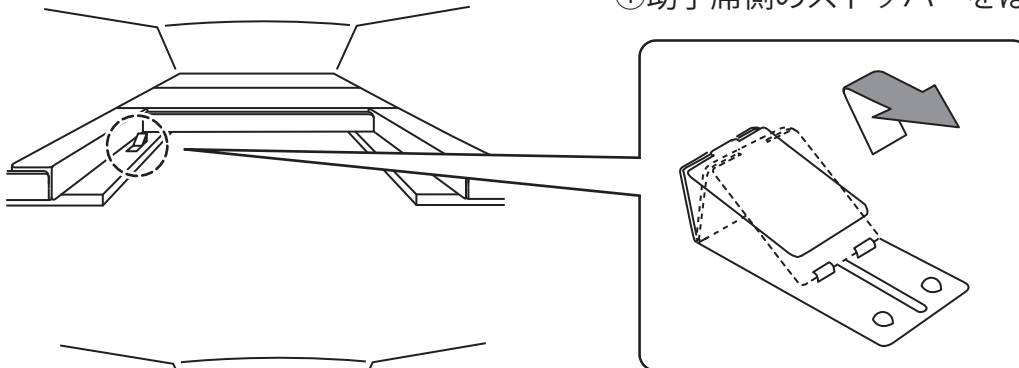
走行時はベッドを使用しないでください。

## 7. バンクベッドセッティング

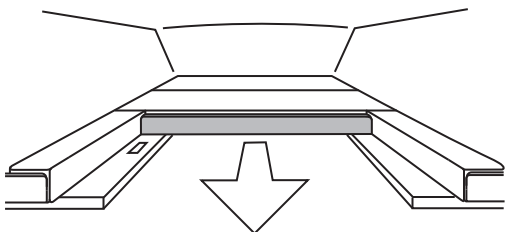


### バンクベッドセッティングのしかた

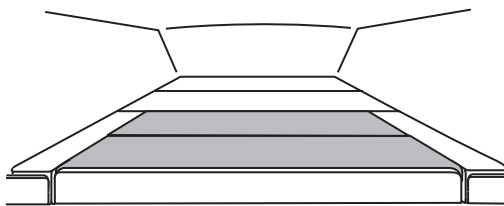
①助手席側のストッパーをはずします。



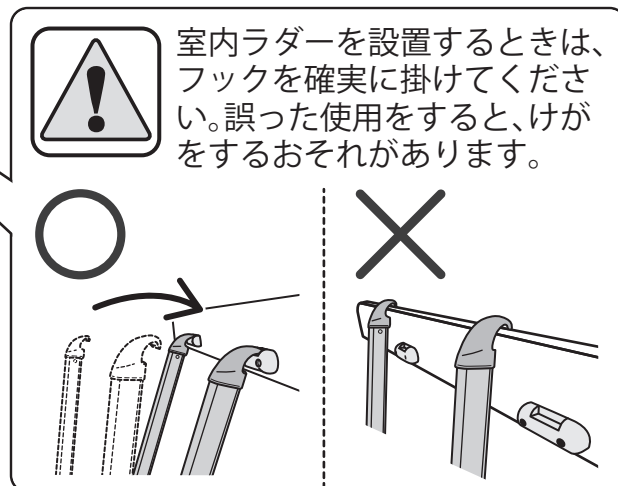
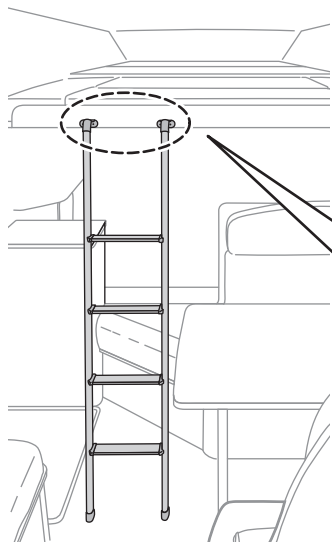
②拡張部分を引き出します。



③引き出した拡張部分の上にマットを敷き詰めます。



昇り降りする際は、室内ラダーを設置してください。

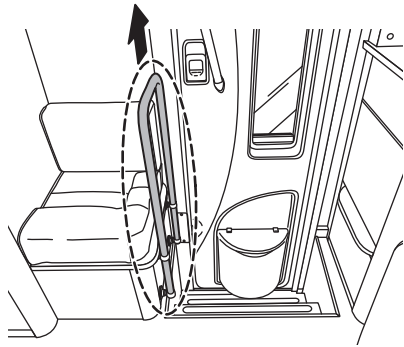


- 走行時はベッドを使用しないでください。
- 就寝時、落下には十分ご注意ください。
- 使用しないときは、必ず拡張部分を収納し、ストッパーをかけてください。

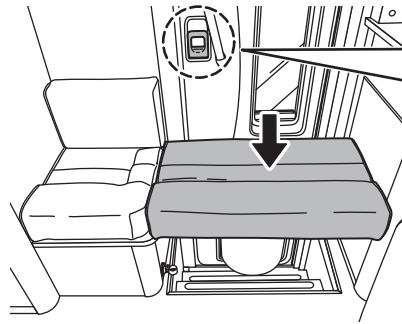
## 7. エントランスマット、通路用補助マット Op option



### エントランスマットの取り付けかた



① エントランスの横に取り付けられている手すりを上に引き抜きます。



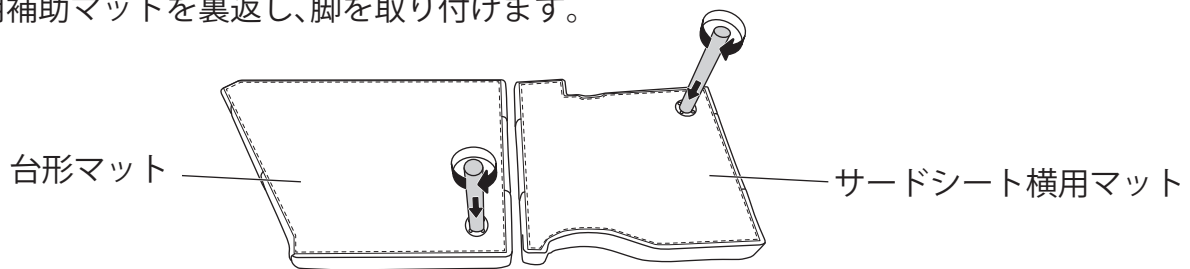
② 補助シートとシューズボックスの間にエントランスマットを置きます。



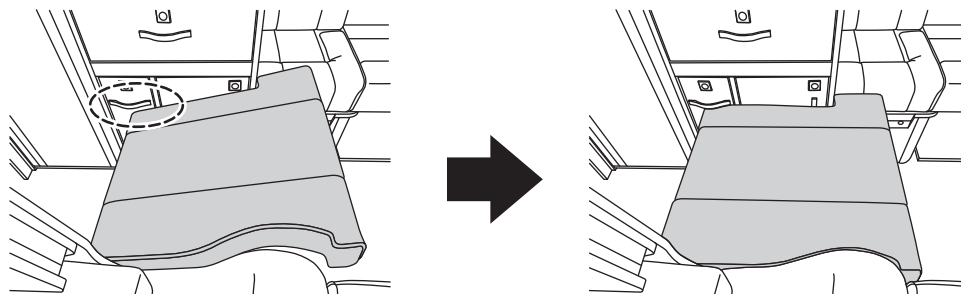
エントランスマットを使用するときは、必ずエントランスドアをロックしてください。急にエントランスドアが開くと、転落するおそれがあります。

### 通路用補助マットのセッティングのしかた Op option

① 通路用補助マットを裏返し、脚を取り付けます。

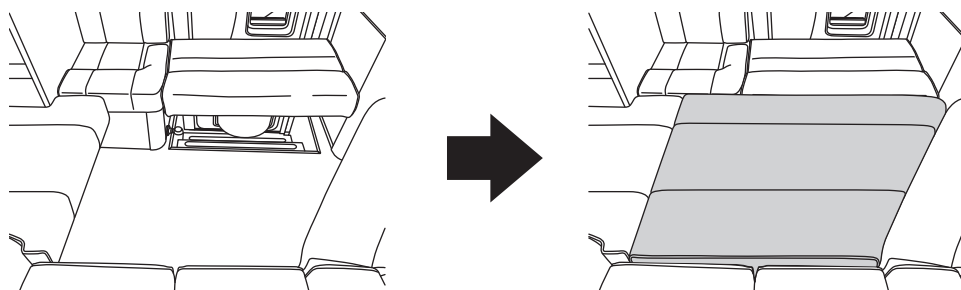


② サードシート横用マットを下図のように家具の形状に合わせて設置します。



※ 取っ手をかわすように下に入れる。  
 ※ レイアウトによっては家具・マットの形状が異なる場合があります。

③ 台形マットを下図のように家具の形状に合わせて設置します。



※ 取りはずす際は逆の手順で行ってください。

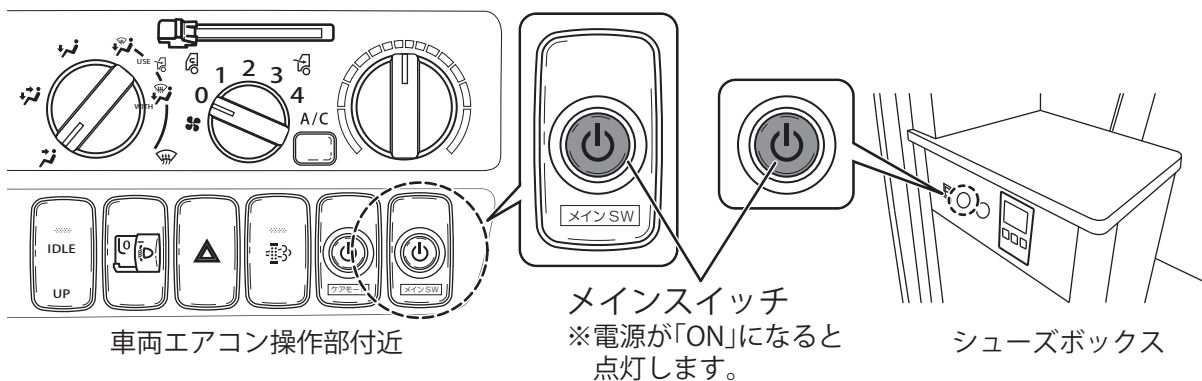
## 8. メインスイッチ、室外灯スイッチ



- 安全のため、電気設備の改造はおやめください。
- 器具や装備品の取り付けかたが適切でない場合、電子制御部品に悪影響を及ぼす可能性があります。取り付けるときは、最寄りの販売店にご相談ください。
- 誤った配線は火災を招く恐れがあります。

### メインスイッチ

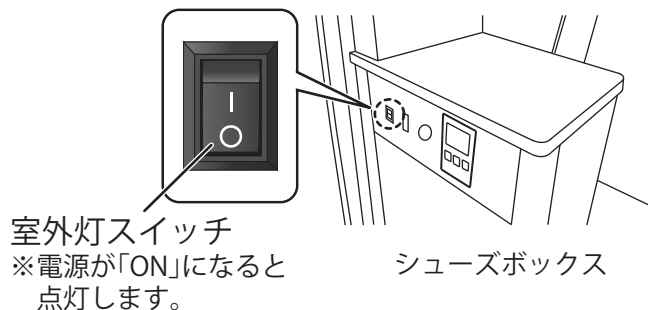
メインスイッチは下図の位置にあります。



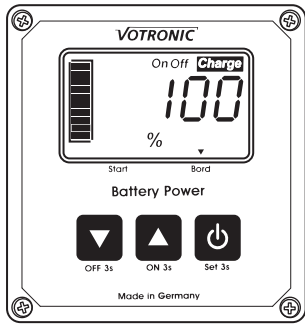
- メインスイッチが「OFF」になっている場合は、FFヒーター以外のすべての電装機器が作動しません。
- FFヒーターは、メインスイッチを「OFF」にしても稼働し続けますので、バッテリーあがりに注意してください。
- メインスイッチを「OFF」にしても、システムの仕様により 0.1A~0.5A の待機電力を消費します。1ヶ月以上車を使用せず、外部充電やソーラー充電ができない場合は、月に1回エンジンをかけて充電してください。
- 長期間使用しない場合は、サブバッテリーのカットスイッチを「OFF」にしてください。 (→P.30)

### 室外灯スイッチ

室外灯スイッチは下図の位置にあります。



## 8. バッテリー残量計



メインバッテリー、サブバッテリーの残量の目安にしてください。


※メインバッテリーは、電圧のみの表示となります。

### 充電状態の確認のしかた

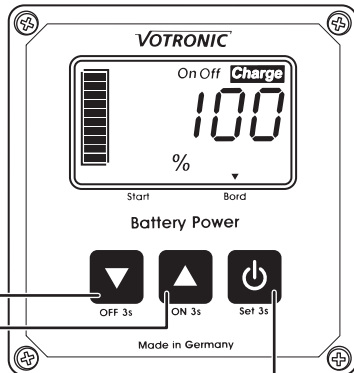
充電中は、液晶画面に **Charge** が表示されます。  
 バッテリー残量計のA表示(電流値)で確認できます。



下記の場合は、サブバッテリーの電圧が高くなっているため、すぐには充電が開始されない場合があります。

- ・ソーラーチャージャー  を搭載している場合
  - ・外部電源コードを使用して充電した直後(走行充電を確認したいとき)
  - ・走行直後(外部電源コードを使用して充電を確認したいとき)
- 電圧が下がると自動で充電が開始されます。

### バッテリー残量計の操作方法

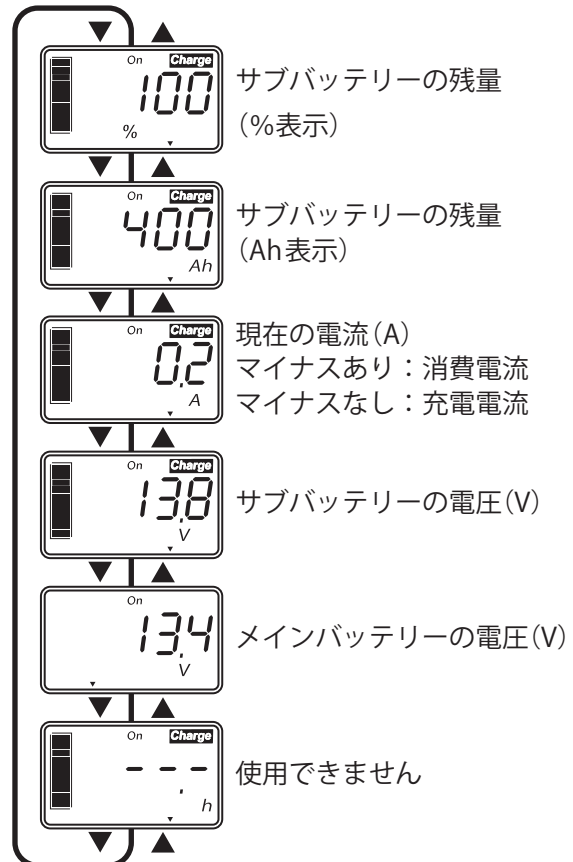


**⏻ ボタン**  
 短押し：画面表示の ON/OFF  
 長押し：設定画面(納車時に設定済みのため、操作しないでください。)

**▲ ボタン**  
 短押し：表示の切り替え  
 ※長押しはしないでください。

**▼ ボタン**  
 短押し：表示の切り替え  
 長押し(3秒以上)：通常は使用しません。  
 ※バッテリー残量計の補正のしかた →P.24

画面表示は下記のように切り換わります。



使用回数を重ねると、実際にバッテリーに充電されている容量とバッテリー残量計の表示に誤差が生じてきます。そのため、定期的にバッテリー残量計の補正をする必要があります。

バッテリー残量計の補正のしかた →P.24



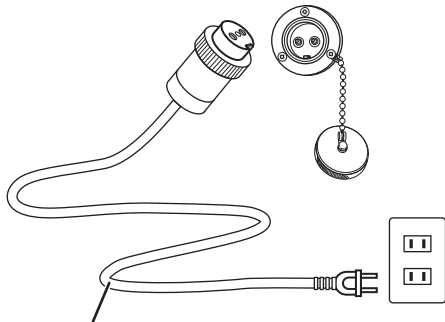
## 8. バッテリー残量計

### バッテリー残量計の補正のしかた

使用回数を重ねると実際にバッテリーに充電されている容量とバッテリー残量計の表示に誤差が生じてきます。そのため、定期的にバッテリー残量計の補正をする必要があります。

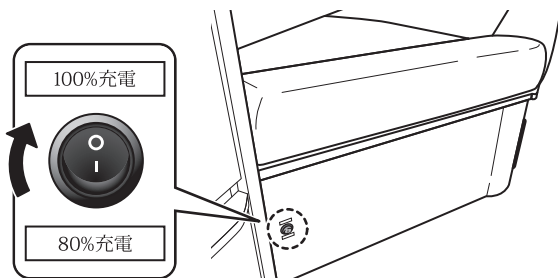
下記手順に従ってバッテリー残量計の補正を行ってください。

- ① 付属の外部充電コードを使用して、充電を行います。→P.26



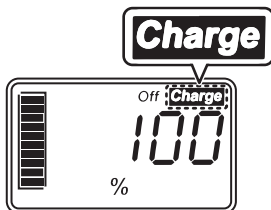
外部電源コード

- ② 充電容量切替スイッチを「100%充電」(上側)に切り替えます。

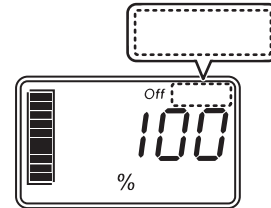


充電容量切替スイッチ セカンドシート

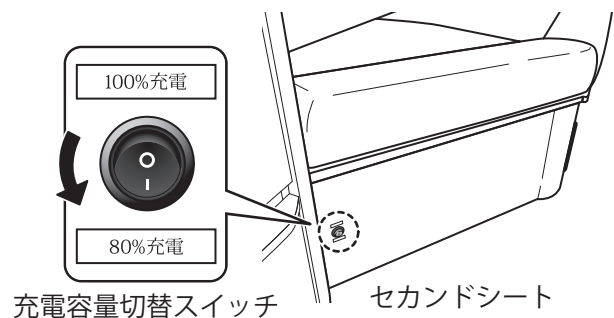
- ③ 液晶右上の **Charge** が消えるまで、充電を続けます。



- ④ **Charge** が消えたら、補正完了です。



- ⑤ しばらく使用しない場合は、サブバッテリーを長持ちさせるため充電容量切替スイッチを「80%充電」(下側)に切り替えます。

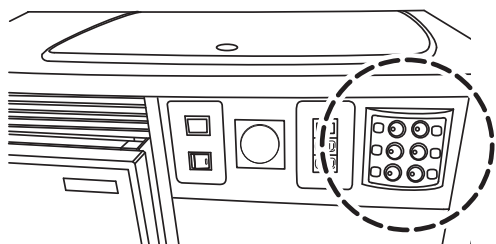


充電容量切替スイッチ セカンドシート



残量計の補正を行うときは、サブバッテリーの電気を消費していない状態で行ってください。(メインスイッチ、FFヒーター、インバーターなどを全てOFFにする) 電気を消費しながら補正充電を行うと、サブバッテリーが過充電になるおそれがあります。

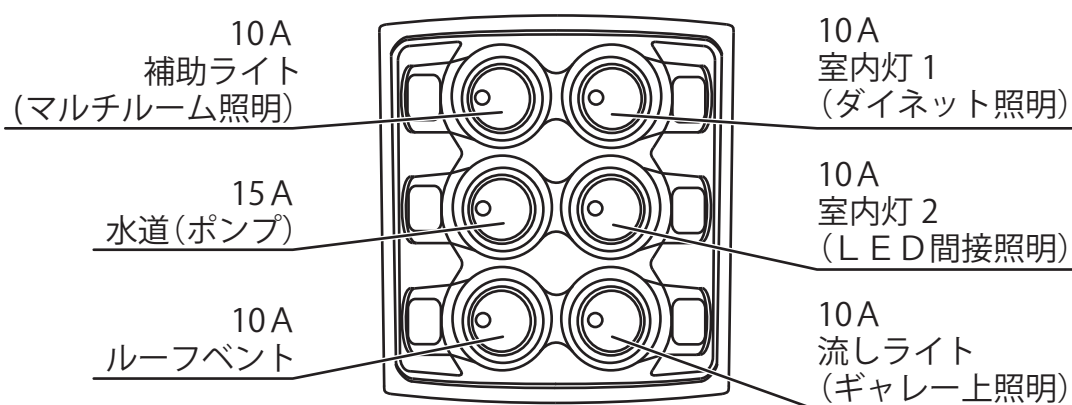
## 8. スイッチパネル (集中スイッチ)



ギャレー

スイッチパネルは、左図の位置にあります。

### スイッチパネル

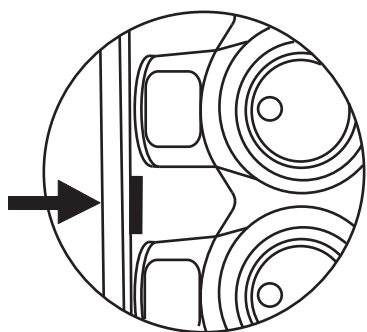


※スイッチパネルはメインスイッチに連動しています。メインスイッチを「ON」にすると、スイッチパネルの各スイッチの「ON/OFF」操作をすることができます。

※スイッチパネルにはヒューズが組み込まれています。ヒューズの交換時は容量を上げないでください。

※レンジフード<sup>OP</sup>は、「流しライト」を「ON」にすると使用できます。

ヒューズはスイッチ名称プレートの裏に隠れています。



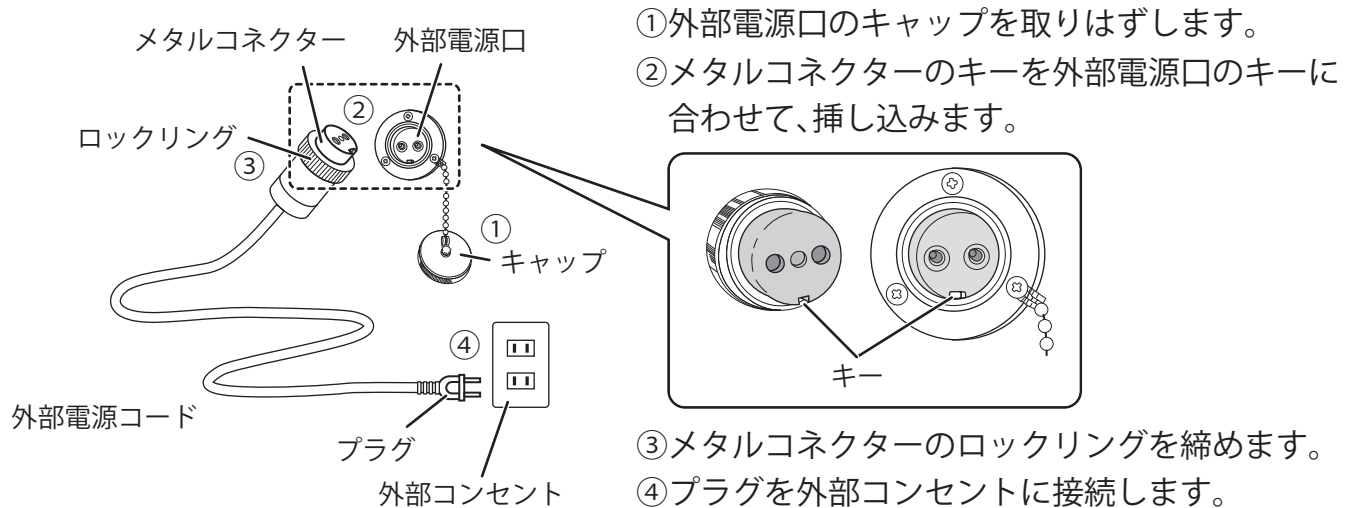
左図のすき間に平らなものを挿し込むと簡単にはずれます。



## 8. 外部電源と外部充電装置

付属している外部電源コードをAC100Vとボディにある外部電源口に接続すると、車内で100V電源をご利用になれると同時に、サブバッテリーの自動充電が行われます。

### 外部電源コードの接続のしかた



取りはずすときは、感電を避けるため、逆の手順(④→③→②→①)で操作してください。



- ・プラグが外部コンセントに接続しているとき(通電しているとき)は、メタルコネクターを操作しないでください。
- ・発車時は外部電源コードをはずして、キャップがしっかりと取り付けられていることを確認してください。

### 外部充電装置について

外部から供給される100Vを使ってサブバッテリーを充電する装置です。

※サブバッテリーの使用前後は必ず充電してください。

※走行直後はサブバッテリーの電圧が高くなっているため、外部電源コードを接続してもすぐには充電を開始しない場合があります。電圧が下がると自動で充電が開始されます。

※充電していることを確認したい場合は、バッテリー残量計の「現在の電流(A)」と画面に **Charge** が表示されていることで確認できます。→P.23

※車内で電子機器を使用している場合は充電が遅くなる場合があります。

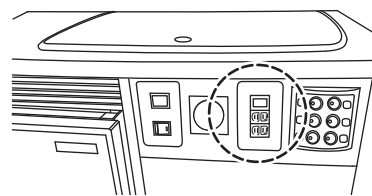
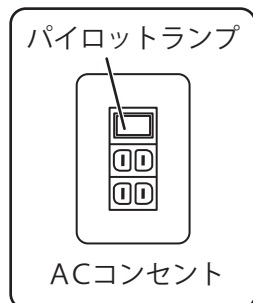


- ・車内のACコンセントは合計15A(1500W)以下で使用してください。使用可能容量を超えるとブレーカーが落ちます。
- ・濡れた手でコンセント部を触ったり、機器コンセント以外のものを詰めたりしないでください。感電の恐れがあります。
- ・コンセントの追加や改造は行わないでください。
- ・外部充電コードを接続した状態で、長時間メインスイッチを「ON」する場合は、充電容量切替スイッチを「80%充電」にしてご使用ください。「100%充電」にしていると、バッテリーに負荷が掛かり劣化を早める原因になります。

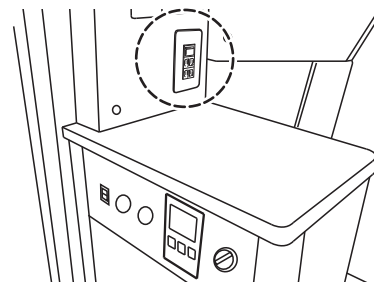
## 8. ACコンセント、インバーター



外部コンセントに接続している場合、またはインバーターを作動している場合は、ACコンセントのパイロットランプが点灯し、100Vの電子機器を使用することができます。



ギャレー



シューズボックス上部

### 外部コンセントに接続してACコンセントを利用する場合

- ①外部電源コードを使用して、外部コンセントに接続します。 (→P.26)
- ②パイロットランプの点灯を確認します。
- ③使用したい電子機器のプラグをACコンセントに挿し込みます。

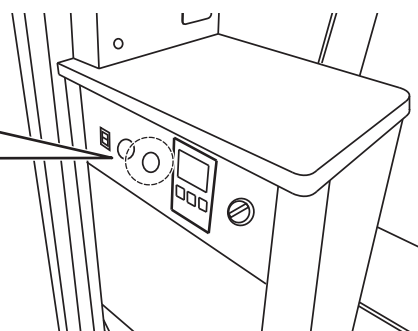
### インバーターを使用してACコンセントを利用する場合

外部コンセントを使用できない場合に、インバータースイッチを入れて100Vの電子機器を使用することができます。



外部コンセントに接続されているとインバーターは作動しません。

- ①メインスイッチを「ON」にします。
- ②インバータースイッチを「ON」にします。  
(スイッチが点灯します。)
- ③パイロットランプの点灯を確認します。  
(インバータースイッチを入れて、約3秒後に点灯します。)
- ④使用したい電子機器のプラグをACコンセントに挿し込みます。



※使いすぎにより本体の制御装置が働くと「強制OFF」されます。

本体を復帰させるには、メインスイッチが「ON」の状態、インバータースイッチを「消灯」→「点灯」の順に操作してください。

※パイロットランプが点灯しないときは、ブレーカーが落ちている可能性があります。

ブレーカーが落ちている場合は、「入」に戻してください。 (→P.30)

それでも点灯しない場合は、最寄りの販売店にご相談ください。



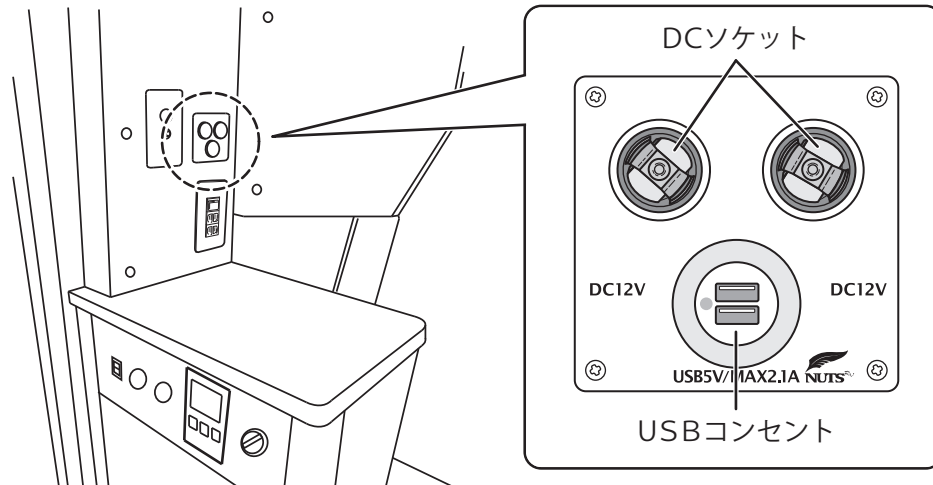
- ・「タコ足配線」は非常に危険ですので、おやめください。  
(「タコ足配線」などの分配使用は、発熱または火災を招く原因になります。)
- ・メインスイッチを「OFF」にするとインバーターの電源は「OFF」になります。



## 8. DCソケット、USBコンセント

### DCソケット、USBコンセントの使いかた

DCソケットとUSBコンセントは、下図の位置にあります。  
メインスイッチを「ON」にすると、使用することができます。



シューズボックス上部

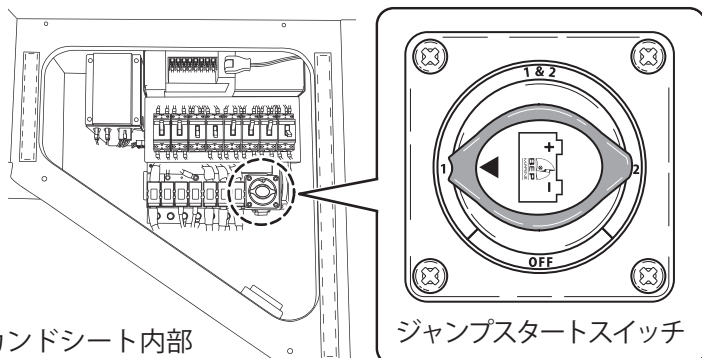


- DCソケットは、合計 10 A (120W) 以下で使用してください。
- USBコンセントは、合計 2.1 A (10.5W) 以下で使用してください。
- 「タコ足配線」は非常に危険ですので、おやめください。  
(「タコ足配線」などの分配使用は、発熱または火災を招く原因になります。)

## 8. ジャンプスタートスイッチ



ジャンプスタートは、メインバッテリー（車両側バッテリー）が上がってしまい、エンジンが始動できなくなった場合に、サブバッテリーを使用してエンジンを始動する機能です。



セカンドシート内部

ジャンプスタートスイッチ

ジャンプスタートスイッチは、セカンドシート内のハイパーEVOユニットに組み込まれています。

**「1」**  
平常時

平常時は「1」にダイヤルを合わせてください。  
外部充電時やソーラー充電時にメインバッテリーにも補助充電するため、メインバッテリーが上がることを防止します。

**「1&2」**  
ジャンプスタートするとき

メインバッテリーが上がってしまった場合は、ダイヤルを「1&2」に合わせて、エンジンを始動してください。  
サブバッテリーを使用してエンジンを始動することができます。  
(サブバッテリーに電力が無い場合は、エンジンを始動することができません)  
**エンジン始動後は、必ずダイヤルを「1」に戻してください。**

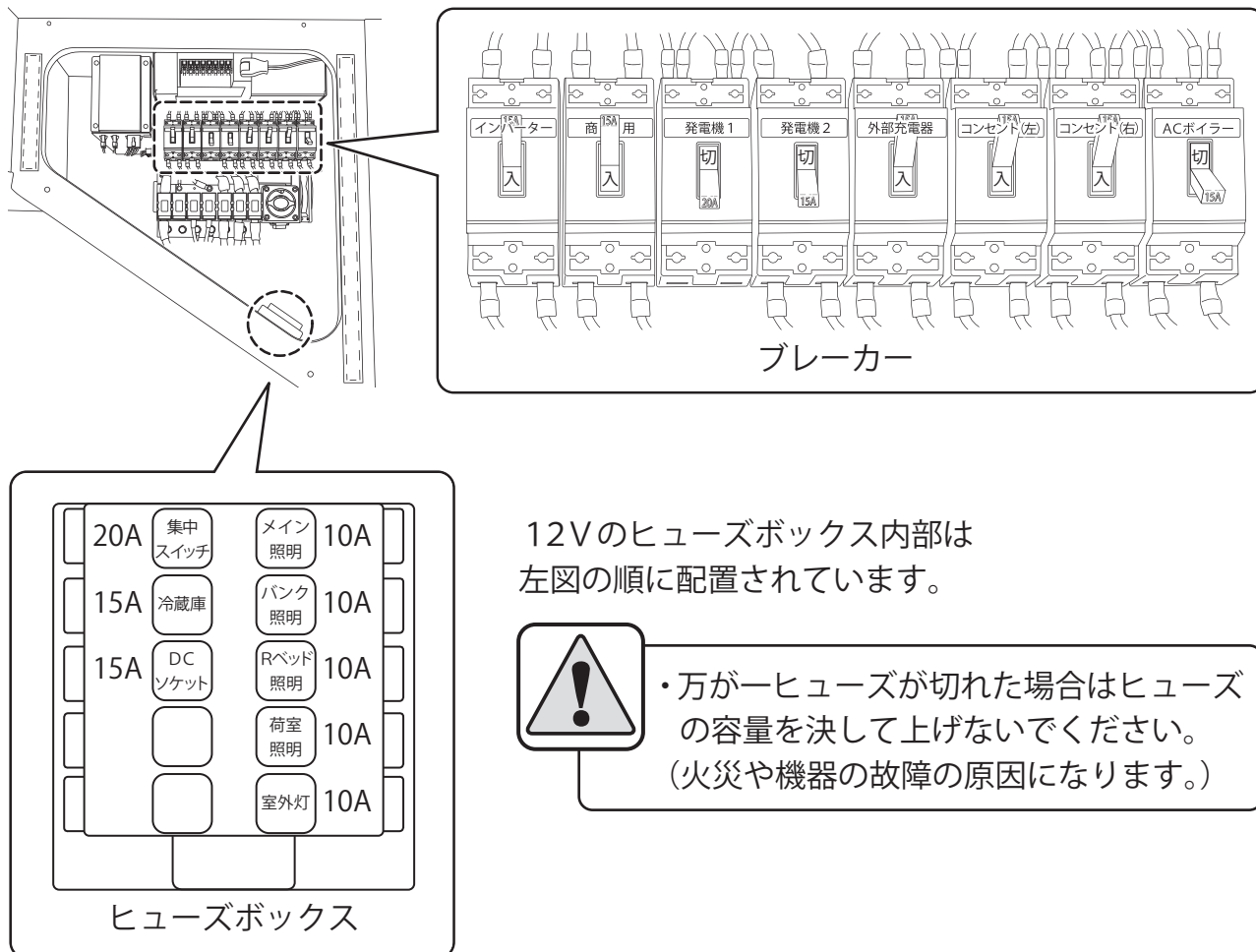
**「OFF」**  
メインバッテリーを交換するとき

バッテリー交換作業時は、ダイヤルを「OFF」の位置に合わせてから作業してください。  
エンジンOFF中はサブバッテリーや外部充電器、ソーラー充電器との接続が切り離され、メインバッテリーに電気が流れなくなるため、安心してバッテリーを交換することができます。

※「2」は使用しません。

## 8. ブレーカー、ヒューズ

ブレーカー、ヒューズは下図の位置に設置されています。

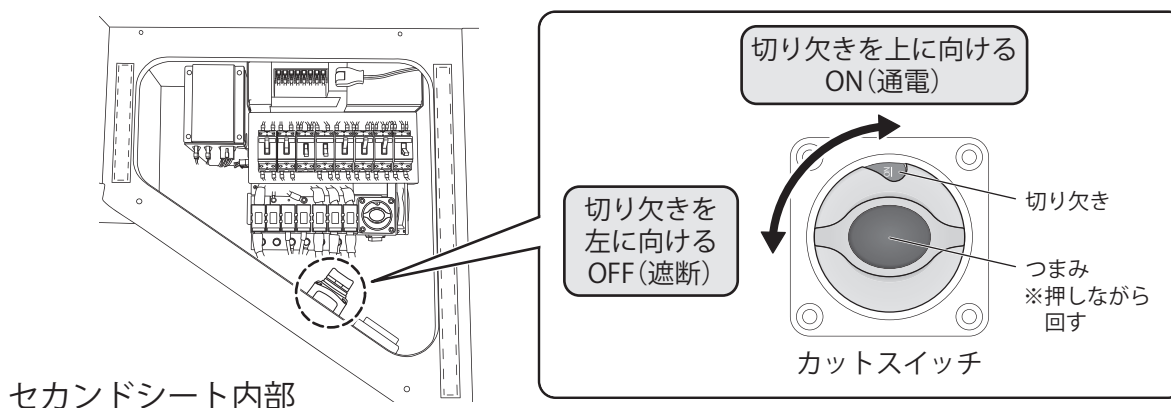


## 8. カットスイッチ

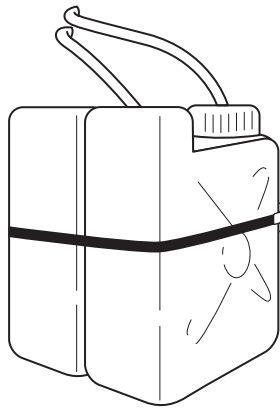
Op option

### サブバッテリーのカットスイッチ Op option

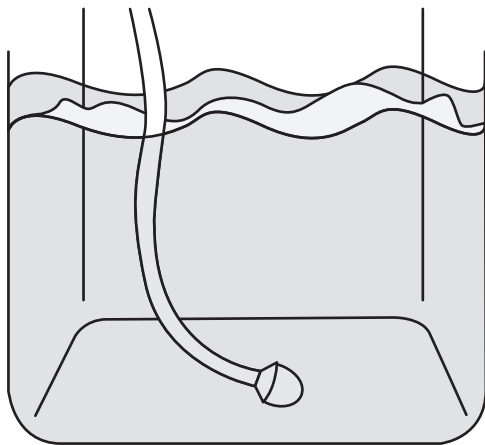
長期使用しない場合において、外部コンセントやソーラーチャージャーによる充電ができない場合は、サブバッテリーのカットスイッチを「OFF」にしてください。  
 (「OFF」にしなかった場合、バッテリーに充電できる容量が減少し、寿命が縮む原因になります。)



## 9. 給水タンク、排水タンク



給水タンクと排水タンクは  
ギャレー下の収納庫にあります。



給水タンクの中に水を入れ、給水ホース  
を入れます。  
給水ホースはタンクの底まで入れて  
ください。

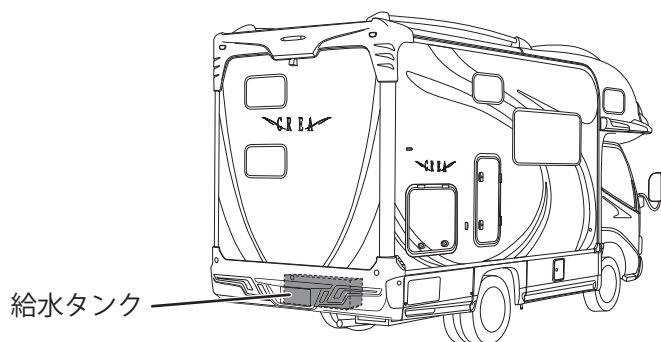


- タンク、ホース、フィルターは使用前に洗浄してください。
- タンクはゴムバンドで固定されています。走行前に固定されていることを確認してください。
- キャンプ終了後は水を捨ててください。
- 夏場は水が傷みやすいので注意してください。
- 冬場は凍結の恐れがありますので、タンクとポンプの水抜きをしてください。

→P.39~40

## 9. 給水タンク(60L)

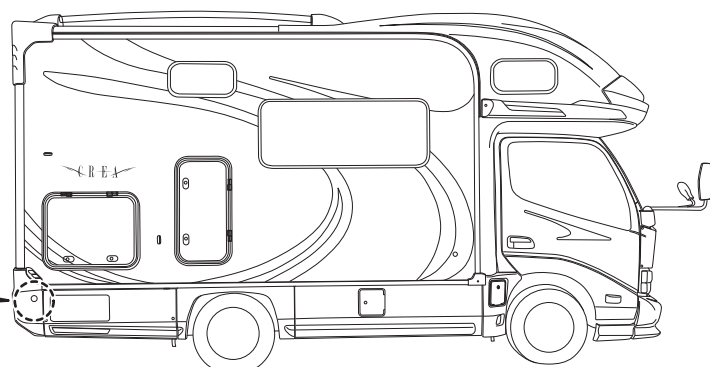
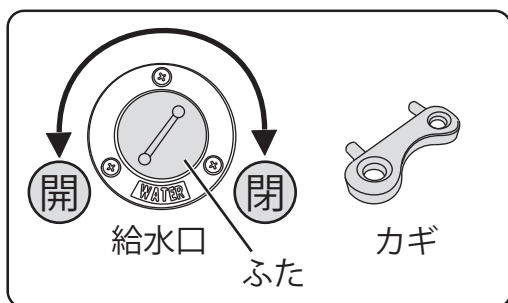
Op  
option



給水タンクは車体運転席側の床下に  
あります。

### 給水タンクに水を補給する方法

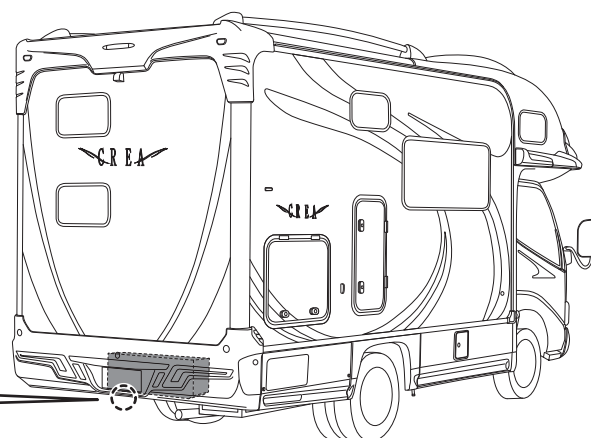
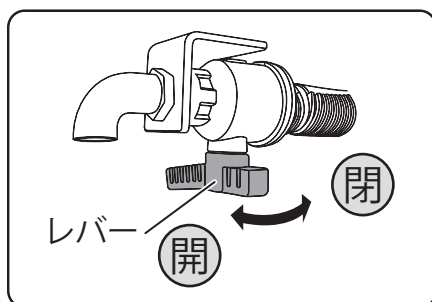
- ①給水口用のカギを使用し、給水口のふたを  
はずします。



- ②給水口から給水タンクに水を入れます。

### 給水タンクの水の捨てかた

給水タンク内の水を捨てるときは、  
給水タンクの下部にあるレバーを  
回します。



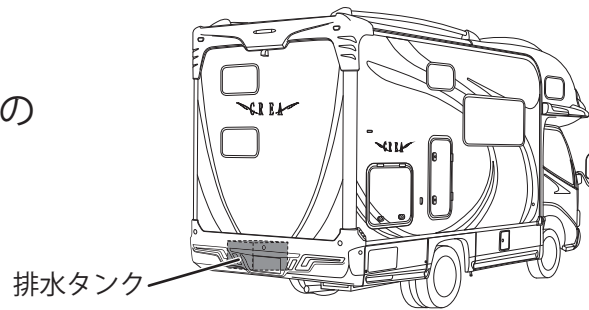
- ・給水タンクは使用前に洗浄してください。
- ・使用後、残った水は必ず捨ててください。
- ・夏場は水が傷みやすいので注意してください。
- ・冬場は凍結の恐れがありますので、水抜きをしてください。
- ・満タンにした際、車体の揺れなどにより水が流れ出る場合がありますが、タンクのオーバーフローによるもので、故障ではありません。

## 9. 排水タンク(60L)

Op  
option

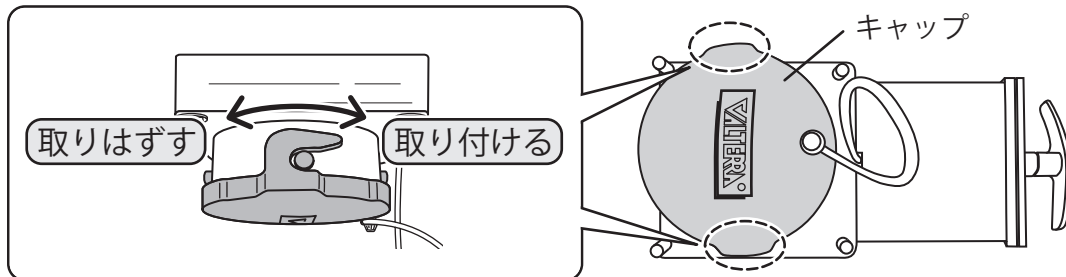


排水タンクは車体後部の  
床下にあります。



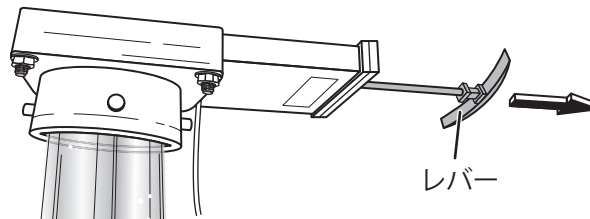
### 排水タンクの水の捨てかた

①排水タンクの下部にあるキャップを取りはずします。



レバーを先に引いてしまうと、キャップをはずした途端、水が溢れ出します。

②レバーを引いて排水します。



- 排水タンクは使用前に洗浄してください。
- 使用後は必ず水を捨ててください。
- 排水時は、自然環境を考慮し、迷惑の掛からない場所に排水してください。
- 冬場は凍結の恐れがありますので、水抜きをしてください。

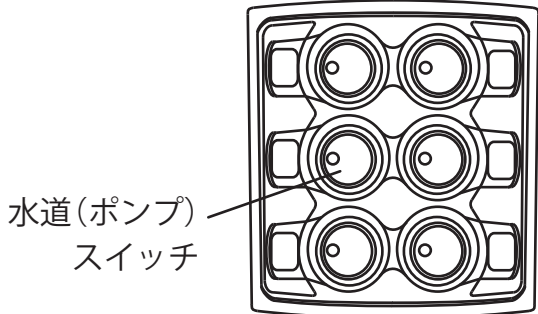




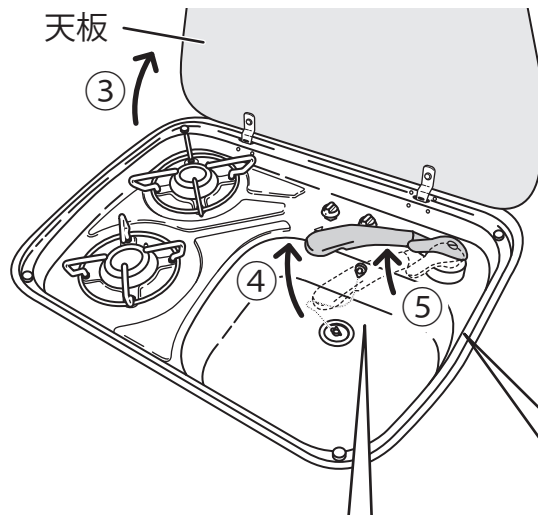
# 9. 混合水栓

温水を使用する場合は、ボイラー OP を参照してください。 [→P.37](#)

## 混合水栓の使いかた



- ①メインスイッチを「ON」にします。
- ②スイッチパネルの「水道(ポンプ)」を「ON」にします。(電源が「ON」になると、赤色のランプが点灯します。)



- ③天板を上げます。
- ④蛇口を上げます。
- ⑤レバーを上げると、水が出ます。

※蛇口のヘッド部は回転させることができます。

蛇口

※温水ボイラー OP 使用時は、レバーを左に回すと温水が出ます。

レバー

温水      水

使用する際は、やけど防止のため、必ず水側から適温に調節してください。



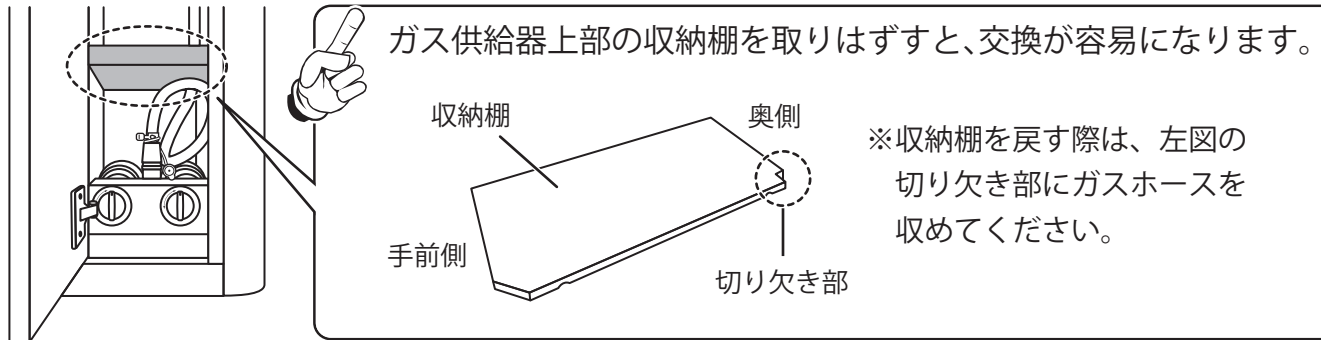
- ・タンク内に水が無い状態で給水ポンプを回すと、ポンプが破損しますので注意してください。
- ・使用したあとは、必ず「ポンプ」スイッチを「OFF」にしたあと、レバーを上げて、蛇口内の残水を抜いてください。(残水の漏れや腐食、冬期は配水管の凍結の原因になります。)

## 9. ガスコンロ



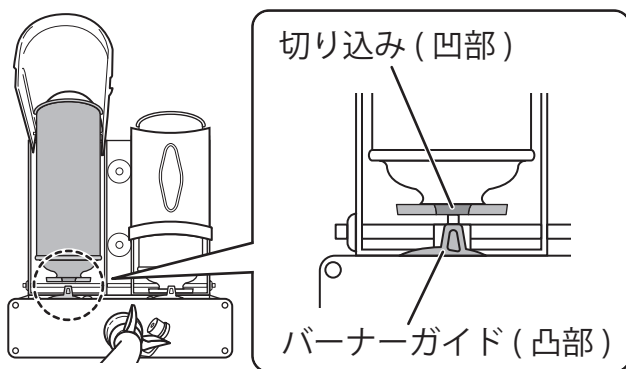
※納車時、ガスボンベは同梱しておりません。

### ガスボンベの交換のしかた

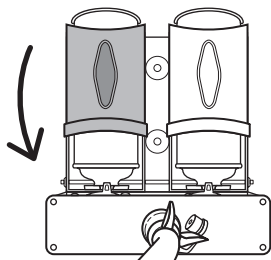


### 取り付けかた

- ①ガスボンベの切り込み(凹部)をバーナーガイド(凸部)に合わせてセットします。



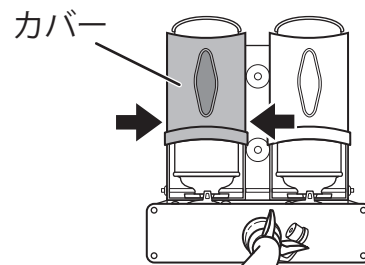
- ②カバーを閉じます。  
(カバーを閉じると、ガスボンベは自動的にガス供給器に接続されます。)



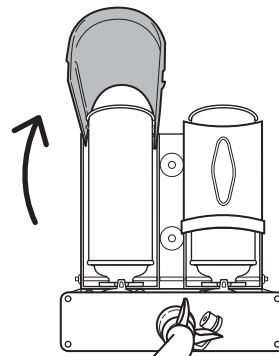
ガスコンロを使用しないときは、ガスボンベをガス供給器から取りはずし、車外の涼しい場所で保管してください。

### 取りはずしかた

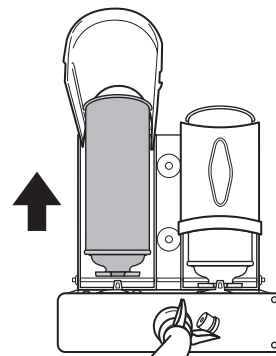
- ①下図の矢印部分を押しとカバーのロックがはずれます。



- ②カバーを奥側に開きます。



- ③ガスボンベを奥側にずらすと取りはずすことができます。

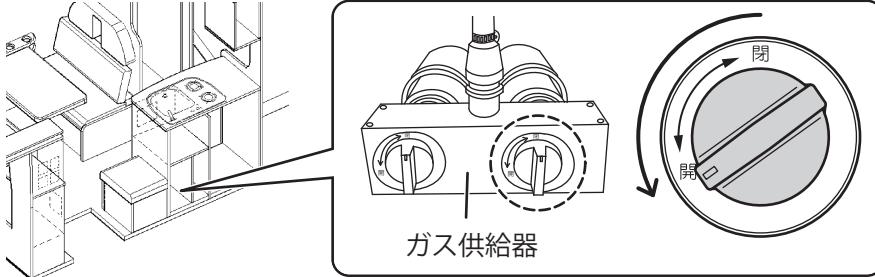




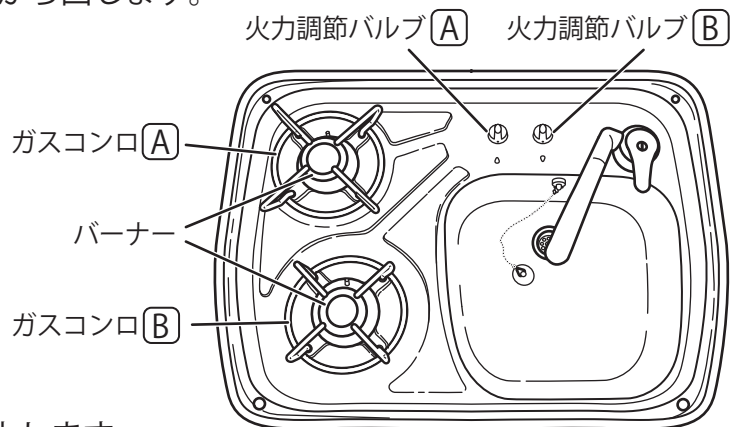
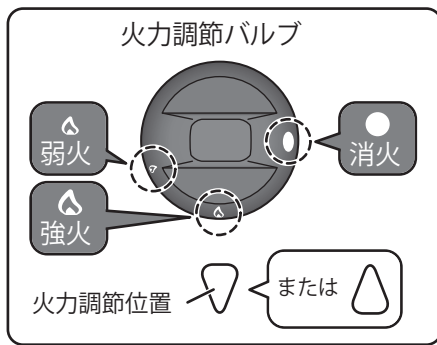
## 9. ガスコンロ

### ガスコンロの使いかた

- ①メインスイッチを「ON」にします。
- ②ギャレー下収納庫内のガス供給器の元栓を「開」にします。



- ③火力調節バルブを「強火」の位置に押しながら回します。  
(強火のマークを手前に回します。)



- ④ライターなどの火をバーナーに向けて着火します。

使用後は、ガスホース内に残ったガスを燃焼させるため、以下の手順を行ってください。

- ①ガス供給器の元栓を「閉」にします。
- ②上記③④の手順でコンロに火をつけます。
- ③火が消えたら、火力調節バルブを「消火」の位置に戻します。



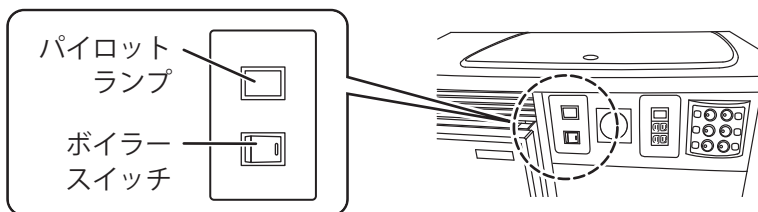
- ・走行時はガス供給器の元栓を閉め、ガスコンロは使用しないでください。
- ・走行時は天板を閉じてください。車体が揺れることで、天板が勢いよく閉じて割れるおそれがあります。
- ・ガスコンロを使用するときは、まわりに燃える物が無いことを確認してから使用してください。
- ・ガスコンロを使用しないときは、ガスボンベをガス供給器から取りはずし、車外の涼しい場所で保管してください。
- ・火を使うときは必ず換気をしてください。
- ・標高が高い場所や寒冷地では点火しない場合があります。

## 9. ACボイラー



### ACボイラー Op option で温水を使用する方法

- ①外部電源コードを使用して、外部コンセントに接続します。 (→P.26)  
※インバーターでも使用できますが、消費電力が大きいためバッテリーを激しく消費します。
- ②給水タンクに十分な水が入っていることを確認します。
- ③メインスイッチを「ON」にします。
- ④「水道(ポンプ)」スイッチを「ON」にします。  
(ポンプが作動すると、ボイラーのタンクに水を溜めはじめます。ボイラーのタンクが満水になると、ポンプの運転は自動停止します。蛇口から水を出すと自動で運転を再開します。)  
※混合水栓のレバーを温水側に回して水を出し、空気を含んでいないか確認してください。
- ⑤「ボイラー」のスイッチを「ON」にします。(パイロットランプが点灯します。)



※パイロットランプが点灯しない場合は、ボイラーのブレーカーが落ちている場合があります。ブレーカーを確認してください。 (→P.30)

- ⑥30分程度経過すると、温水が使用できるようになります。

ボイラー内に十分な水量があるにもかかわらず、温水が出なくなったときは、「ボイラーのリセット」を行ってください。 (→P.38)



#### ACボイラー使用後のご注意

<走行する前に必ず配管内の圧抜きを行ってください。>

※圧抜きをしなかった場合、配管が破裂する原因になります。

- ①ACボイラー、水道(ポンプ)のスイッチを「OFF」にしてください。
- ②混合水栓のレバーを上げて水を出してください。

長期使用しない場合は、水抜きを行ってください。 (→P.40)

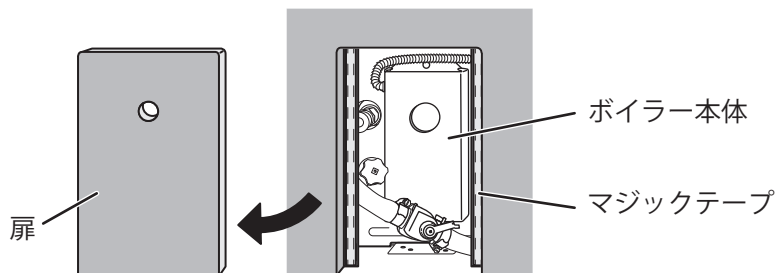
## 9. ACボイラー

Op  
option

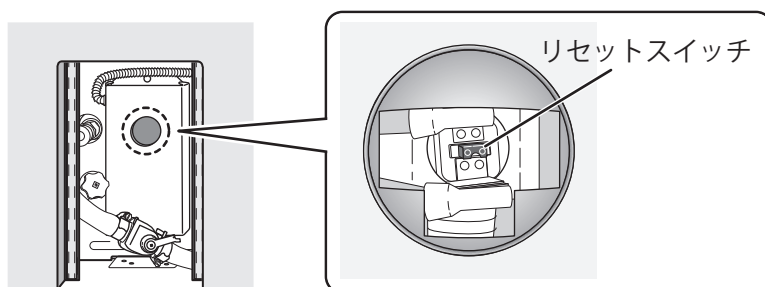


### ACボイラー<sup>Op</sup>のリセットのしかた

- ①ボイラーのスイッチを「OFF」にします。
- ②リヤベッド下収納庫にある点検用の扉を開けます。

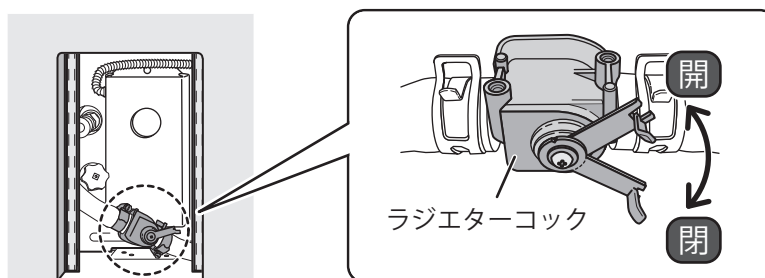


- ③ボイラーのリセットスイッチを押します。



### ラジエターの熱を利用して温水を使用する方法

- ①走行前に、ボイラーに水が溜まっているか確認します。  
(ACボイラー<sup>Op</sup>で温水を使用する方法を参照してください。) →P.37②~④
- ②ラジエターコックを開けます。



- ③走行して、ボイラーの水を温めます。  
※走行のしかた(一般道・高速道路・アイドリングのみ)によって、温まる時間は異なります。  
アイドリングのみでは不十分な場合があります。



走行中にラジエターコックを開けていなかった場合でも、走行直後(アイドリング状態)であれば、ラジエターの熱を利用して水温を上げやすくすることができます。

①「ACボイラー<sup>Op</sup>で温水を使用する方法」でボイラーの水を温めます。→P.37

②ラジエターコックを開けます。

※通常、納車時はラジエターコックを閉めています。

※使用しないときは、ラジエターコックを閉めてください。

## 9. 水抜きのかた

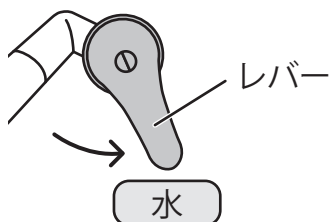


長期間使用しないとき、寒冷地へのお出かけや冬期氷点下になるときは、配管内・タンク内・ボイラー内の水を抜いてください。

(凍結防止、または水の腐食防止のため)  
凍結するとポンプが破損します。

### 温水(ACボイラー Op<sub>option</sub>)を使用していない場合

- ①給水タンクの水を捨てます。※60Lアップグレード Op<sub>option</sub> の場合 →P.32
- ②「ポンプ」のスイッチを「ON」にします。
- ③混合水栓のレバーを水側で全開にして、水が出なくなるまで待ちます。



水を出している間、車から離れないでください。  
長時間ポンプを空回しすると、ポンプが故障する原因になります。

- ④水が完全に出なくなったら混合水栓を閉めます。
- ⑤「ポンプ」のスイッチを「OFF」にします。
- ⑥排水タンクの水を捨てます。※60Lアップグレード Op<sub>option</sub> の場合 →P.33

温水(ACボイラー Op<sub>option</sub>)を使用した場合は、次ページを参照してください。

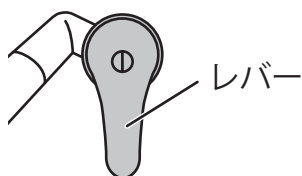
## 9. 水抜きのかた

Op  
option



### 温水(ACボイラー<sup>Op option</sup>)を使用した場合

- ①「ボイラー」のスイッチを「OFF」にします。
- ②給水タンクの水を捨てます。※60Lアップグレード<sup>Op option</sup>の場合 →P.32
- ③「ポンプ」のスイッチを「ON」にします。
- ④混合水栓を「温水と水の間」の位置で全開にして、水が出なくなるまで待ちます。

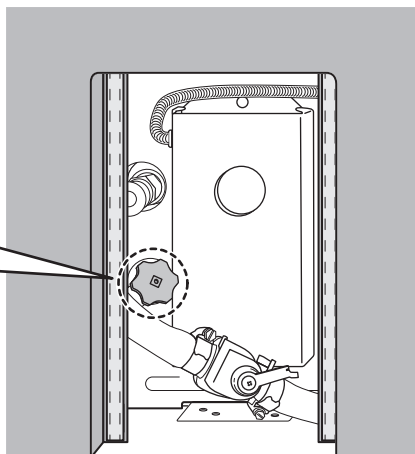
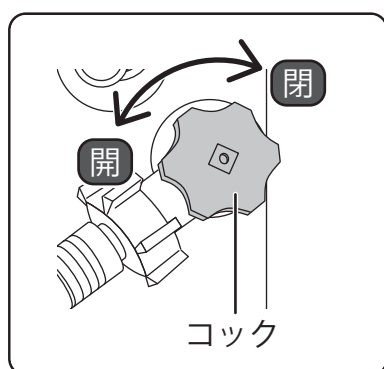


温水と水の間



水を出している間、車から離れないでください。  
長時間ポンプを空回しすると、ポンプが故障する  
原因になります。

- ⑤混合水栓のレバーを左右させ、水が完全に出なくなったことを確認してから、混合水栓を閉めます。
- ⑥「ポンプ」のスイッチを「OFF」にします。
- ⑦ボイラー内の水を確実に抜くために、ボイラーのコックを開けます。  
※ボイラーの排水口の場所 →P.10

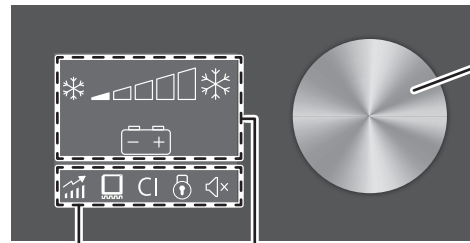
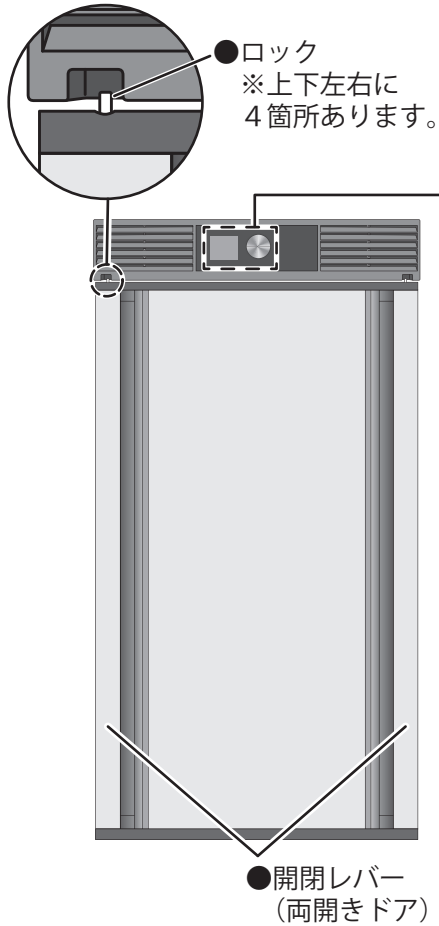


- ⑧水が出なくなったら、コックをしっかりと閉めてください。  
※次回使用するときコックが開いていると水漏れし、ポンプが自動停止せず、故障する原因  
になります。
- ⑨排水タンクの水を捨てます。※60Lアップグレード<sup>Op option</sup>の場合 →P.33

## 9. 冷蔵庫 (70L)



### 冷蔵庫の使いかた



- 操作ダイヤル / ボタン  
回す：項目の選択  
押す：決定  
長押し (2 秒間)：電源 ON  
長押し (4 秒間)：電源 OFF

- 温度レベル (1 ~ 5)
- \* 点灯 (青)：コンプレッサー稼働中  
点灯 (白)：コンプレッサー停止中
- DC電源での動作
- エラーコード付き警告表示

- ユーザーモード (運転モード)
  - ▶ パフォーマンスモード：設定可能な温度レベル (1 ~ 5)
  - ⊗ サイレントモード：設定可能な温度レベル (1 ~ 3)
  - ⬆ ブーストモード (急冷モード)：設定可能な温度レベルなし  
※サイレントモードまたはブーストモードを設定した場合、  
8時間後に自動的にパフォーマンスモードに戻ります。  
(パフォーマンスモードで設定していた温度レベルに戻ります。)
- 使用しません。
- CI 使用しません。
- チャイルドロック (操作ボタンを1.5秒以内に3回押しと、  
一時的に解除できます。10秒間操作しないと再度ロックします。)
- 消音 (ON にするとドアが開いたまま約2分間経過しても、  
警告音が鳴らなくなります。)

#### <消費電力を抑えるポイント>



- ① お出かけ前に外部充電している状態で温度レベルを「5」にして、冷蔵庫内をしっかりと冷やします。
- ② お出かけするときは、温度レベルを「2 ~ 4」に下げます。  
※使用しないときは電源を OFF (ボタンを4秒間長押し) にします。



- ・走行前に必ず上下左右のロックが掛かっていることを確認してください。  
走行中に庫内の物が飛び出してきたり、破損の原因になります。

### エラーコード内容

エラーランプ (赤色) の点滅回数によりエラー内容が異なります。

- 4 秒間に 1 回点滅：供給電圧が設定範囲外にある。
- 4 秒間に 2 回点滅：ファンの過電流 (1 A を超える使用) によるエラー
- 4 秒間に 3 回点滅：コンプレッサーモーターの始動エラー
- 4 秒間に 4 回点滅：コンプレッサーモーターの回転数エラー
- 4 秒間に 5 回点滅：エレクトリックユニット (基盤) の過熱によるエラー
- 連続で点滅：測定できない温度。NTC センサーの不良

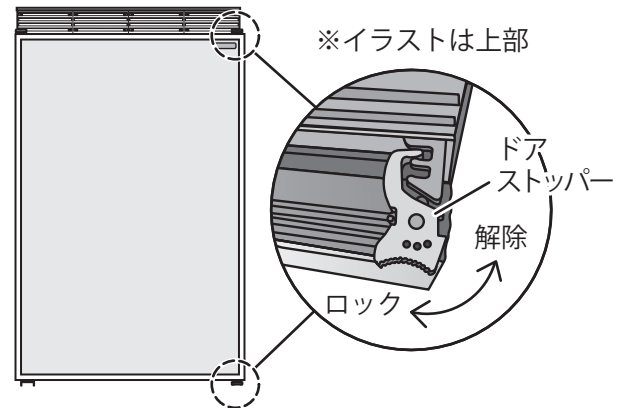




## 9. 冷蔵庫 (90L)

### ドアストッパーの確認

走行中に冷蔵庫のドアが開かないように、ドアの左側の上下2カ所にドアストッパーが付いています。上下のストッパーは連動していますが、走行前に上下ともしっかりロックが掛かっていることを確認してください。

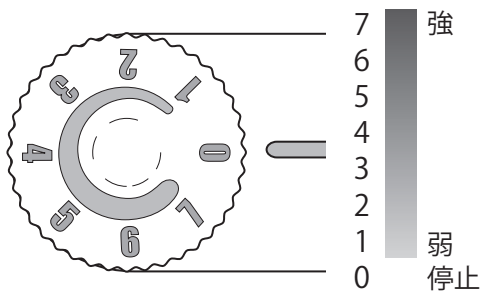


- ・走行前に必ず上下のロックが掛かっていることを確認してください。走行中に庫内の物が飛び出してきたり、破損の原因になります。
- ・扉ポケットに重い物(ペットボトル等)を入れると扉が傾きロックできない場合があります。

### 温度設定のしかた

#### 温度設定ダイヤル

・冷蔵庫内の温度を調節します。

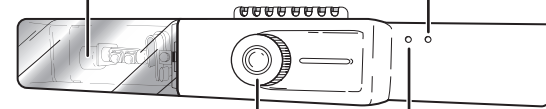


#### 庫内灯

・扉を開けた時に点灯します。

#### 運転ランプ(緑色)

・稼働中に点灯します。



#### エラーランプ(赤色)

・電圧降下時や本体不良時に点滅します。

※エラーコードの内容は下記をご確認ください。

(冷蔵庫内右側)




#### <消費電力を抑えるポイント>

- ①お出かけ前に外部充電している状態で温度調節ダイヤルを「7」に合わせ、冷蔵庫内をしっかりと冷やします。
  - ②お出かけするときは、温度調節ダイヤルを「2～4」に下げます。
- ※使用しないときは、温度調節ダイヤルを「0」にして運転を停止します。

### エラーコード内容

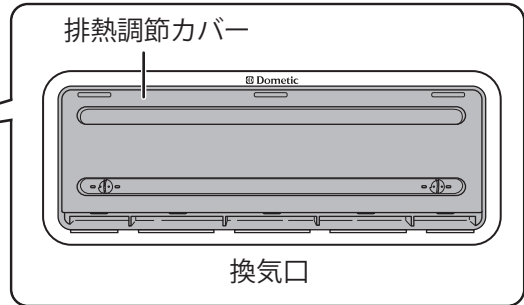
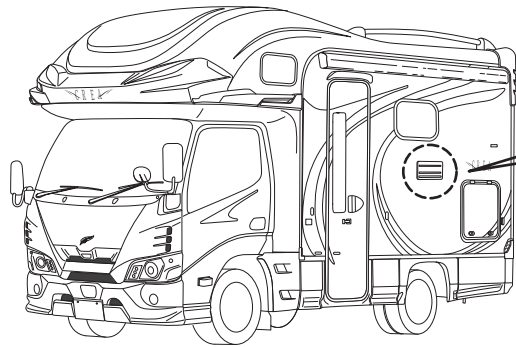
エラーランプ(赤色)の点滅回数によりエラー内容が異なります。

- 4秒間に1回点滅：バッテリーを保護するためにバッテリーの電圧が10.4V以下(12Vの場合)、または22.8V以下(24Vの場合)になるとコンプレッサーが停止します。
- 4秒間に2回点滅：ファン  の過電流(1Aを超える使用)によるエラー
- 4秒間に3回点滅：コンプレッサーモーターの始動エラー
- 4秒間に4回点滅：コンプレッサーモーターの回転数エラー
- 4秒間に5回点滅：エレクトリックユニット(基盤)の過熱によるエラー

## 9. 冷蔵庫 (90L)



冷蔵庫は外気温の影響を受けやすいため、換気口に取り付けられた「排熱調節カバー」を季節によって着脱する必要があります。



**夏場など気温が高いとき**

排熱調節カバーを取りはずしてください。  
(冷蔵庫から排出された熱気を逃がし、冷蔵庫内を冷えやすくするため)

**冬場など気温が低いとき**

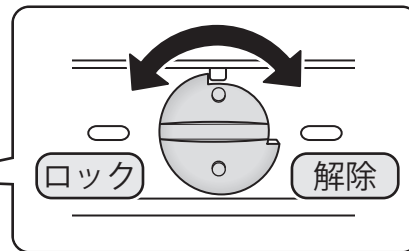
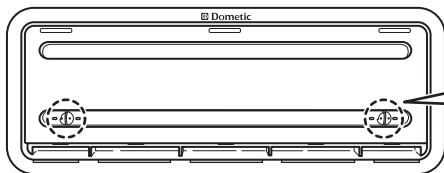
排熱調節カバーを取り付けてください。  
(冷蔵庫内が冷えすぎないようにするため)



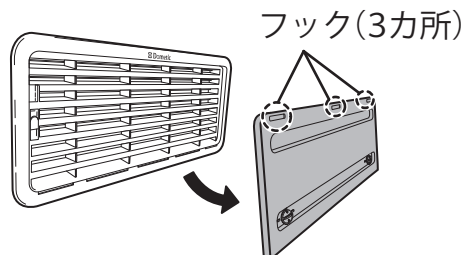
夏場でも、雨が降っている場合は、排熱調節カバーを取り付けてください。  
(換気口から水が侵入し、故障の原因となります。)

### 排熱調節カバーの取りはずしかた

- ①排熱調節カバーに付いている固定具 (2カ所) を時計回りに回します。



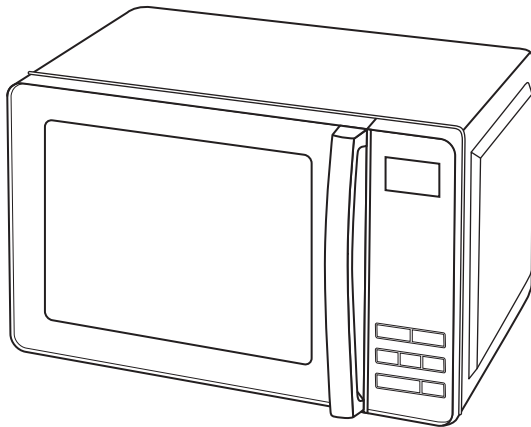
- ②上部のフック(3カ所)をはずし、排熱調節カバーを取りはずします。





## 9. 電子レンジ

### 電子レンジの使いかた



- ※外部コンセントに接続している場合、  
①②の操作は不要です。
- ①メインスイッチを「ON」にします。
  - ②インバータースイッチを「ON」にします。  
(約3秒後に作動します。)
  - ③付属の電子レンジの取扱説明書に従い、  
要領を守って使用してください。



### 使用上の注意

- ・インバーターで使用する場合は、サブバッテリーの残量(%)を確認してください。サブバッテリーの残量が減少していると、インバーターで必要とする電圧を供給できず、途中停止します。
- ・発電機を搭載している場合、または外部電源の受給が可能な場所では、極力発電機または外部電源を使用し、インバーターによるサブバッテリーの消費を避けてください。
- ・電子レンジと家庭用エアコンの併用はできません。使用するときは、家庭用エアコンの運転を止めて使用してください。



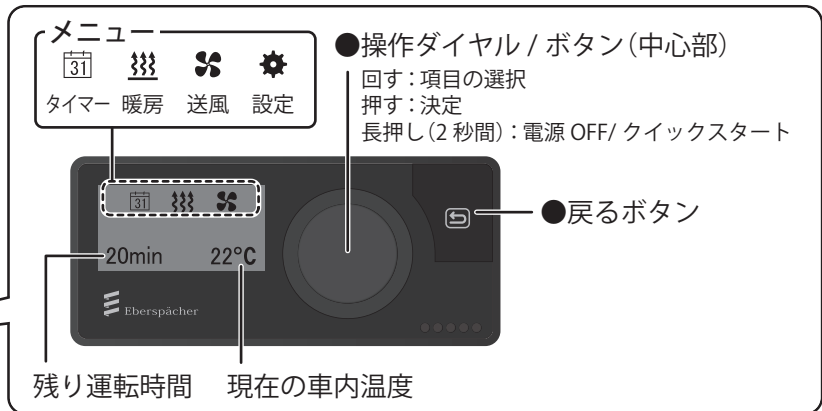
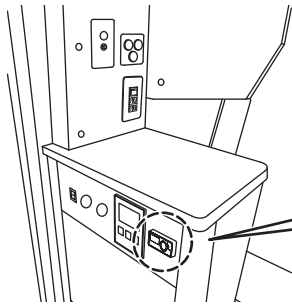
家庭用エアコンの運転を切り忘れて、電子レンジの運転が止まってしまった場合は、インバータースイッチを入れ直して再度お試しください。  
使用する際は、家庭用エアコンとの併用は避け、電子レンジ単体で使用してください。

# 10. FFヒーター

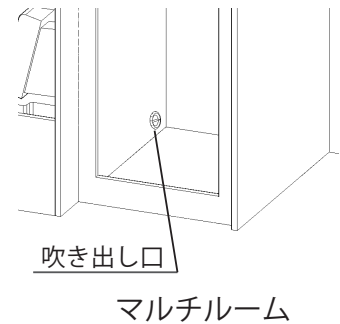
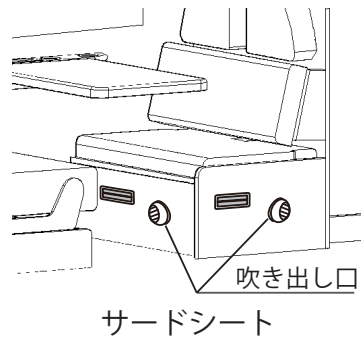


## FFヒーターの操作方法

FFヒーターのスイッチは、  
下図の位置にあります。

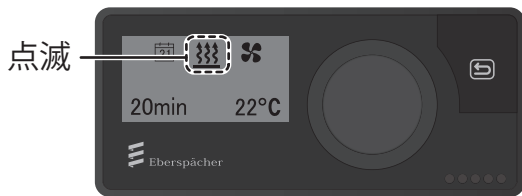


燃料計の目盛りが点滅している  
状態でFFヒーターを使用しな  
いでください。燃料が少ない  
状態で使用するとガス欠の原因  
となります。

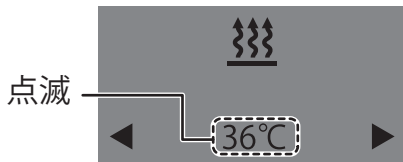


## 暖房の使いかた

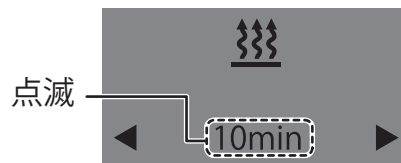
①操作ダイヤルを回し、 (暖房)を選んで、  
ボタンを押す。



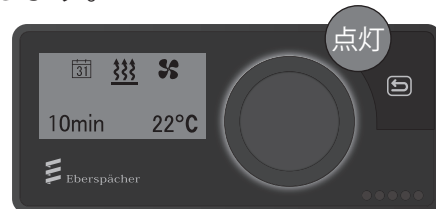
②操作ダイヤルを回し、設定したい温度に  
合わせ、ボタンを押す。



③操作ダイヤルを回し、運転時間(切タイマー)  
を選んで、ボタンを押す。



※暖房運転を開始し、ダイヤルの周りが赤く  
点灯します。



暖房を切りたいとき

・操作ダイヤルのボタンを長押し(2秒間)す  
ることによって運転を切ることができます。

クイックスタート

・電源 OFF 時に操作ダイヤルのボタンを長押し  
(2秒間)することによって素早く暖房運転を開始しま  
す。②~③で設定した温度と時間で開始します。

※その他機能の設定方法は付属の取扱説明書を参照してください。

## 10. FFヒーター




### 定期メンテナンス表示



4ヶ月間使用しなかった場合、夏季であっても「暖房」機能を10分間運転するように表示画面に左記のような注意が表示されます。  
短い運転時間であっても装置内の残留物や堆積物を取り除かれ、暖房が必要な時期でのヒーターの正しい作動が保証されます。

### エラーメッセージ

定期メンテナンス以外で  マークが表示された場合は、付属の取扱説明書の「トラブル時の対処」を参照し、エラーメッセージを確認してください。  
問題が解決されない場合は、最寄りの販売店にご相談ください。

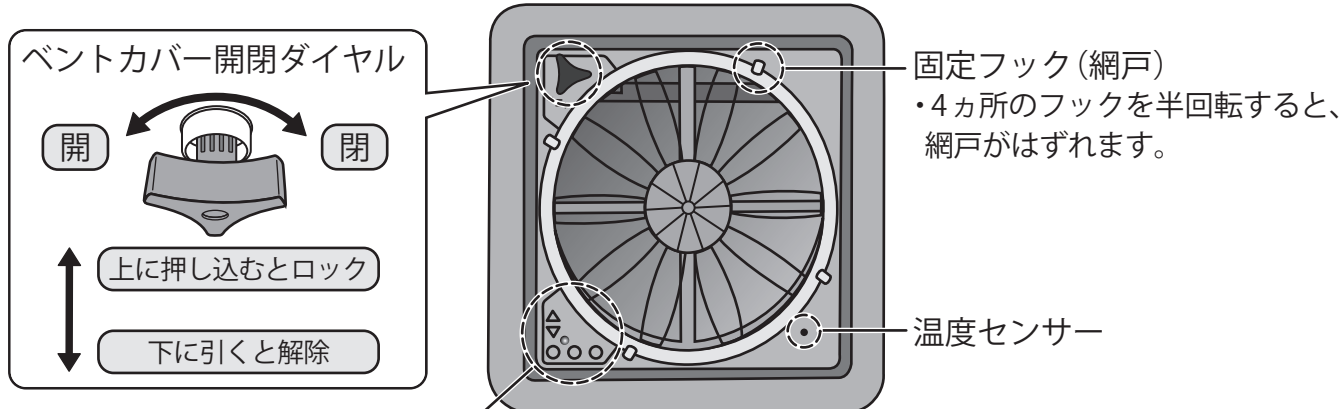


- ・給油の際はFFヒーターを必ず「完全停止」してください。引火の恐れがあります。
- ・車両燃料タンクには、水抜き剤や添加物は混入しないでください。  
(ヒーターがオーバーヒートしたり、故障する可能性があります。)
- ・FFヒーター本体・吸気口・吹き出し口付近に物を置かないでください。  
(吸気・排気が正常に行われず、エラーの原因になります。)  
※吸気口にペットの毛などが付着している場合は取り除いてください。
- ・使用中・使用後はマフラーが高温になっていますので、やけどに注意してください。
- ・長期使用されない場合でも、1ヶ月に一度20分程度使用してください。
- ・標高によっては、作動限界を超えて失火することがありますが、故障ではありません。
- ・再始動を繰り返すとススが発生し、故障の原因になります。マフラーからススが出る場合は、点検が必要です。最寄りの販売店にご相談ください。

# 10. マックスファンベンチレーター



スイッチパネルの「ルーフベント」スイッチを「ON」にすると使用できます。 →P.25



キーパッドコントロール  
・各ボタンを押したときに「ピッ」という作動音が鳴ります。  
※操作方法は下記を参照してください。

シーリングファンモード  
・ファンが回っているときにベントカバーを閉じると、シーリングファンモードになります。  
ファンは回り続け、車内の空気を循環します。

## キーパッドコントロールの使いかた

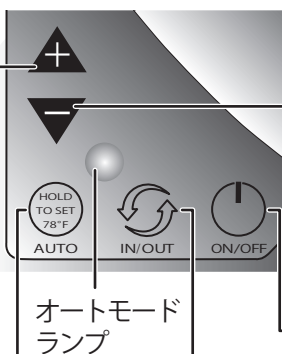
### ▲ + ボタン

手動で使用しているとき

- ・押すたびにファンの回転速度を上げます。  
※ファンの回転速度が最大になると、「ピッ」という短い作動音が2回鳴ります。

オートモードを設定しているとき

- ・押すたびに設定温度を 1°F (0.55°C) 上げます。



### ▼ - ボタン

手動で使用しているとき

- ・押すたびにファンの回転速度を下げます。  
※ファンの回転速度が最小になると、「ピッ」という短い作動音が2回鳴ります。

オートモードを設定しているとき

- ・押すたびに設定温度を 1°F (0.55°C) 下げます。

### ○ 電源入/切ボタン

- ・運転の入/切を行うときに使用します。

### ↻ 吸気/排気切り換えボタン

- ・ファンの「排気」と「吸気」を切り換えたいときに使用します。
- ・ボタンを押すとファンがゆっくり停止し、逆回転します。



### オートモードボタン

- ・設定した温度によって自動的にファンを回転させるモードです。設定すると、オートモードランプが点灯します。
- ・初期温度は 25.6°C (78°F) に設定されています。
- ・3秒以上長押しすると、設定温度は 25.6°C にリセットされます。
- ・「ルーフベント」スイッチを切ると、設定温度は 25.6°C にリセットされます。

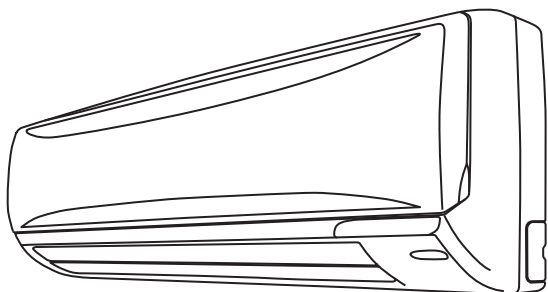


- ・走行時はベントカバーを完全に閉じてください。
- ・使用時は必ずベントカバーをロックさせてください。
- ・清掃するときは、必ず電源を「OFF」にし、水または中性洗剤を使用してください。

## 10. 家庭用エアコン



### 家庭用エアコンの使いかた



- ※外部コンセントに接続している場合、  
①②の操作は不要です。
- ①メインスイッチを「ON」にします。
  - ②インバータースイッチを「ON」にします。  
(約3秒後に作動します。)
  - ③付属の家庭用エアコンの取扱説明書に従い、要領を守って使用してください。



- ・夏場に使用する場合は外部電源に接続された状態で使用することをおすすめします。サブバッテリーのみでは使用時間に限りがあります。
- ・走行中や傾斜のある場所で使用した場合に、水がこぼれることがあります。
- ・室外機の中に水が入らないように注意してください。
- ・家庭用エアコンをご使用の際は、車両を水平な場所に駐車させてからご使用ください。



#### <消費電力を抑えるポイント>

お出かけ前に外部電源に接続し、「冷房」モードで車内を十分に冷やしてから、「除湿」モードに切り換えると、エアコンの消費電力を抑えることができます。

外部電源がないときは、車両側のエアコンと家庭用エアコンを併用し、車内を適温にします。その後、車両側のエアコンを切る場合は、併用時の適温温度を維持するように家庭用エアコンの温度を設定すると、サブバッテリーの消費を抑えることができます。

#### ■暖房を使いたいとき

→FFヒーターを使用してください。家庭用エアコンでの暖房は消費電力が大きいため、使用はおすすめしません。

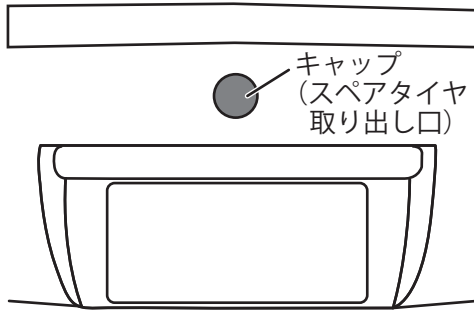
#### ■走行時、家庭用エアコン使用による充電量について

→夏場、家庭用エアコンを使用しながら走行するとき、冷房の設定温度を下げ過ぎると、消費電力が充電量を上回り充電が遅くなるまたは充電されない場合があります。

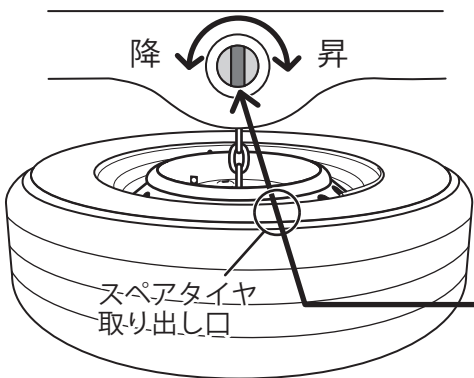
# 11. スペアタイヤ、工具



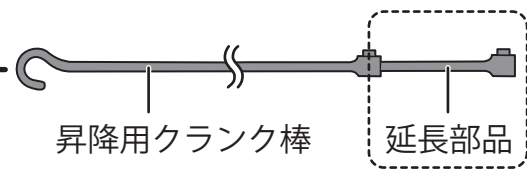
## スペアタイヤの取り出しかた



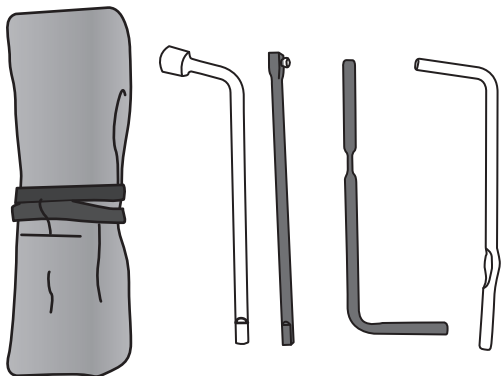
①後部ナンバープレートの上にあるキャップをはずします。



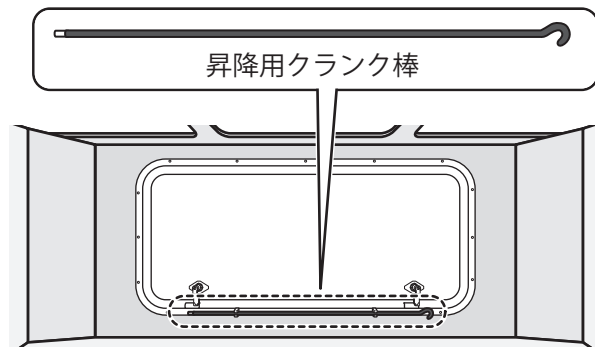
②昇降用クランク棒をスペアタイヤ取り出し口に挿入し、スペアタイヤを昇降します。  
※昇降用クランク棒は、工具袋に入っている延長部品を組み付けてから使用してください。



車両後方下部



※工具袋は納車時、エントランス入口右側外部収納にあります。



リヤベッド下収納庫



- スペアタイヤの交換は安全な場所に駐車してから行ってください。
- 車両重量が普通車に比べ重いため、プロに依頼されることをおすすめします。



## 12. サイドオーニング

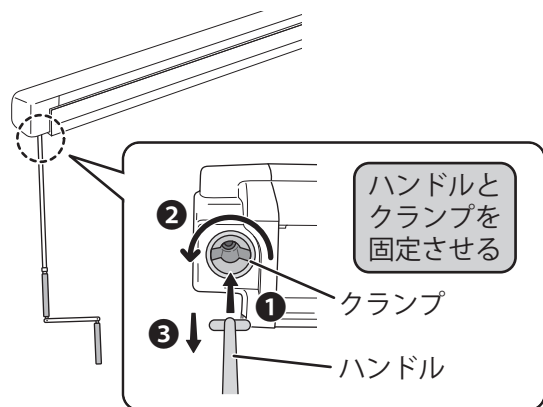
Op  
option



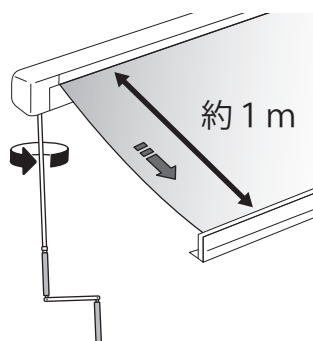
### サイドオーニングの出しかた (手動式の場合)



ハンドルはリヤベッド下の収納庫にあります。

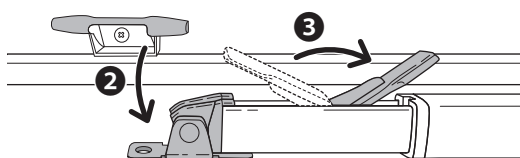
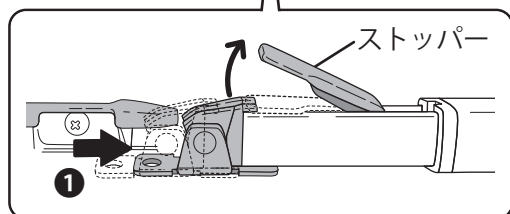
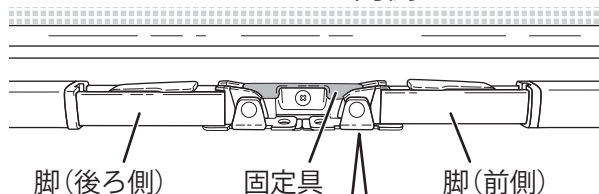


- ①ハンドルをクランプに固定します。
  - ①クランプにハンドルの先端を挿入します。
  - ②ハンドルを反時計回りに回します。
  - ③ハンドルを下に引きます。



- ②ハンドルを左図の矢印方向に回すと、オーニングが出てきます。  
(回し始めに少し抵抗があります。)  
約1メートル出したら、オーニングの下に入り、脚を出す準備をします。

#### オーニング内側



- ③オーニングの内側に取り付けられた脚を取りはずします。
  - ①脚の先端を付け根側に押すと、固定具から脚はずれます。  
※このとき脚の長さを調節するためのストッパーが跳ね上がります。
  - ②脚を少し手前にずらします。
  - ③ストッパーを掛けます。



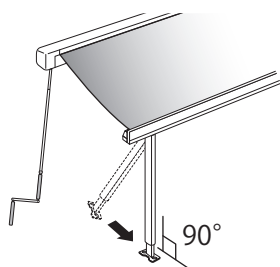
ストッパーを掛けないと、脚をおろすときに脚の先端が飛び出し、けがをされるおそれ、または車体にキズが付く原因になります。

## 12. サイドオーニング

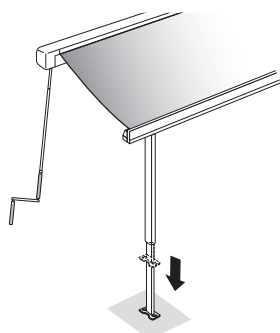
Op  
option



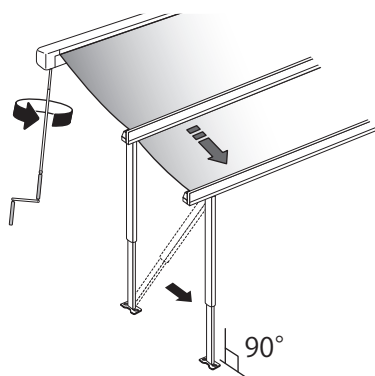
### サイドオーニングの出しかた (手動式の場合) <続き>



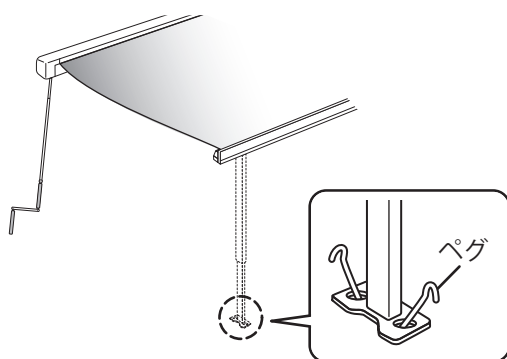
④左右の脚を地面と垂直になる位置におろします。



⑤ストッパーを解除し、脚の先端を地面に着けます。脚の先端が地面に着いたら、再度ストッパーを掛け直します。



⑥脚が地面と垂直になる位置を保ちながら、再びオーニングをお好みの位置まで出します。



⑦オーニングの出し幅・脚の高さが決まったら、ペグを地面に打ち込み、脚を固定します。  
※ペグは工具袋の中にあります。

⑧ハンドルを取りはずします。  
※①の逆の手順を行ってください。

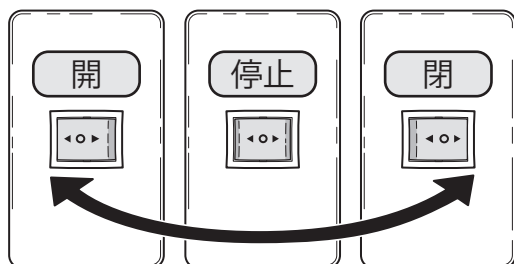
使用上の注意を必ずお読みください →P.54

地面にペグが打てない場所では、ボディーに取り付けてあるピボットを使用し、脚を固定します。ピボットに固定する方法 →P.54

## 12. サイドオーニング



### サイドオーニングの出しかた (電動式の場合)



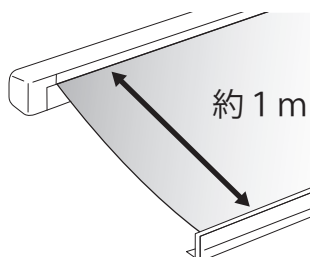
開閉スイッチは助手席側Bピラーにあります。

- ①開閉スイッチを「開」にします。

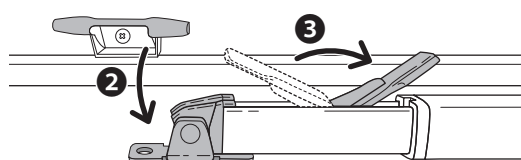
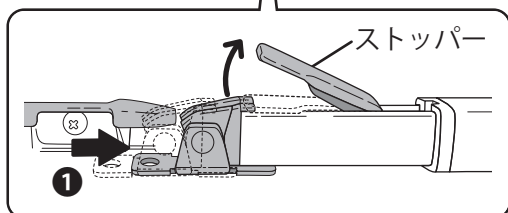
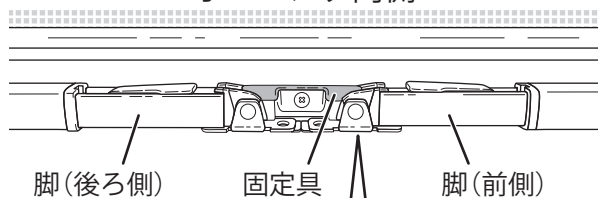


車両キーがイグニッションONの位置では作動しないようになっています。

- ②オーニングが約1メートル出たら、開閉スイッチを「停止」にして、オーニングの下に入り、脚を出す準備をします。



#### オーニング内側



- ③オーニングの内側に取り付けられた脚を取りはずします。

- ①脚の先端を付け根側に押し、固定具から脚がはずれます。

※このとき脚の長さを調節するためのストッパーが跳ね上がります。

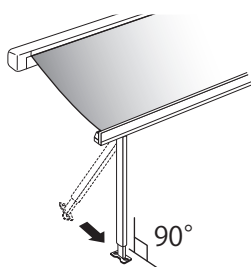
- ②脚を少し手前にずらします。

- ③ストッパーを掛けます。



ストッパーを掛けないと、脚をおろすときに脚の先端が飛び出し、けがをすおそれ、または車体にキズが付く原因になります。

- ④左右の脚を地面と垂直になる位置におろします。

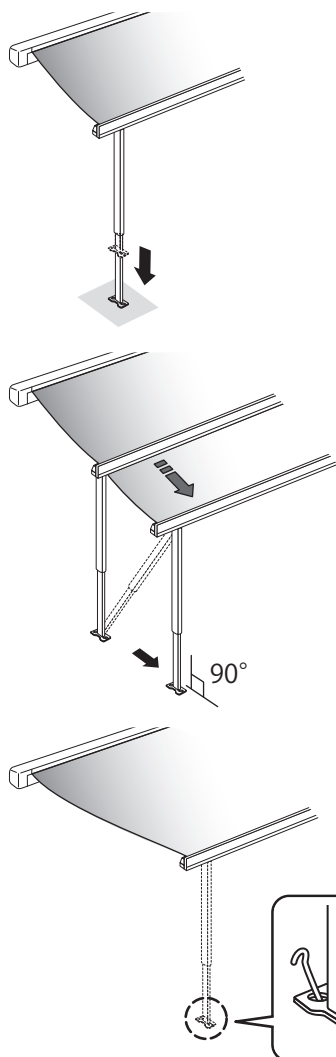


## 12. サイドオーニング

Op  
option



### サイドオーニングの出しかた (電動式の場合) <続き>



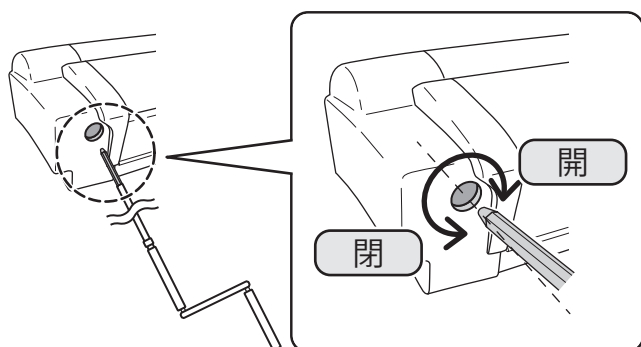
⑤ ストッパーを解除し、脚の先端を地面に付けます。脚の先端が地面に付いたら、再度ストッパーを掛け直します。

⑥ 脚が地面と垂直になる位置を保ちながら、開閉スイッチを「開」にして、オーニングをお好みの位置まで出します。

⑦ オーニングの出し幅・脚の高さが決まったら、ペグを地面に打ち込み、脚を固定します。  
※ペグは工具袋の中にあります。

使用上の注意を必ずお読みください (→P.54)

### 手で操作したいとき



万一、開閉スイッチの故障などによりオーニングを収納できなくなった場合は、備え付けのハンドルを使用して、手で操作することができます。  
※うまくハンドルがはまらない場合は、左図のようにハンドルに角度をつけて再度お試しください。

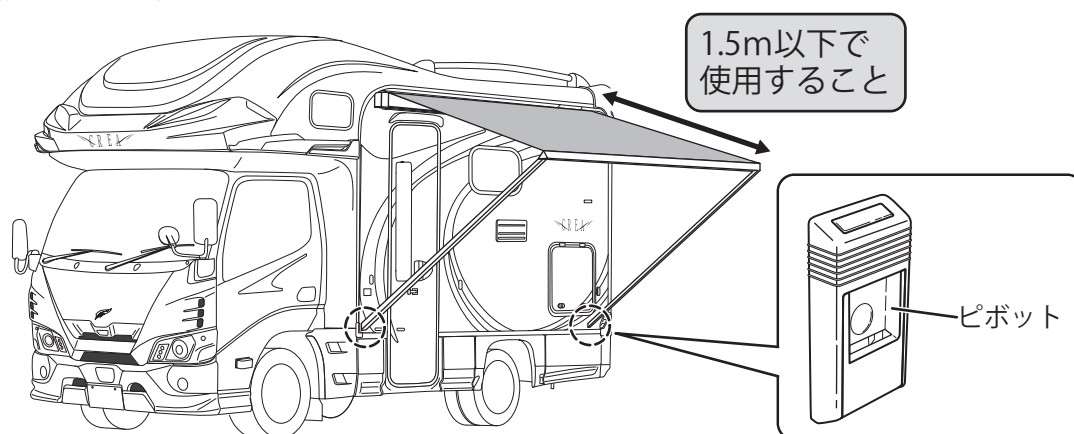
地面にペグが打てない場所では、ボディに取り付けてあるピボットを使用し、脚を固定します。ピボットに固定する方法 (→P.54)

## 12. サイドオーニング

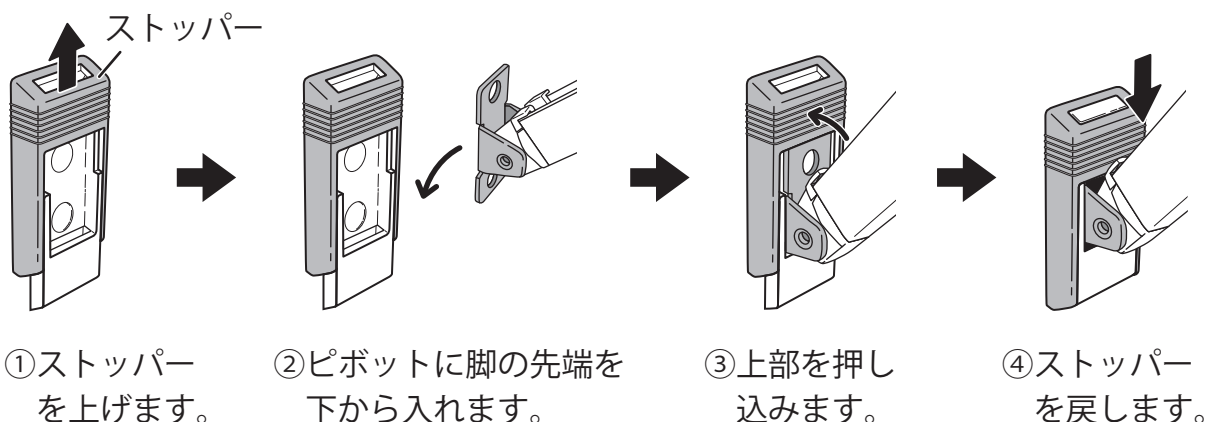
Op  
option



地面にペグが打てない場所では、ボディに取り付けてあるピボットを使用し、脚を固定します。

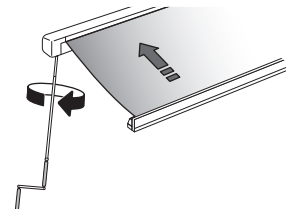


### ピボットに固定する方法



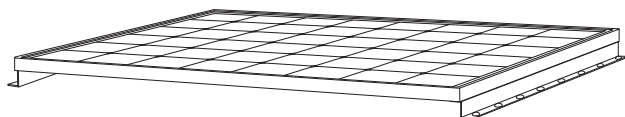
### 使用上の注意

- 雨天時や強風時はサイドオーニングを使用しないでください。
- ピボットを使って固定する場合は、オーニングの出し幅を1.5m以下にしてください。
- オーニングを収納するときは、オーニングに付着した異物を除去してから収納してください。
- 突然の雨によりオーニングが濡れたまま収納した場合は、晴天時に一度開いて乾燥させることをおすすめします。
- 手でオーニングを収納する際は「時計回り」で収納してください。逆に回すと本体に納まりません。
- 脚を収納する際は、脚が確実に固定されていることを確認してから、オーニングを収納してください。



## 12. ソーラーチャージャー

Op  
option



ソーラーパネルはルーフに設置されています。  
日陰では発電できませんので、充電が必要な場合は直射日光の当たる場所に駐車してください。

ソーラーチャージャーのコントロールユニットは、セカンドシート内に設置されています。

※コントローラーの機能として過充電防止装置が付いています。  
サブバッテリーが一定量に達した場合は自動停止します。

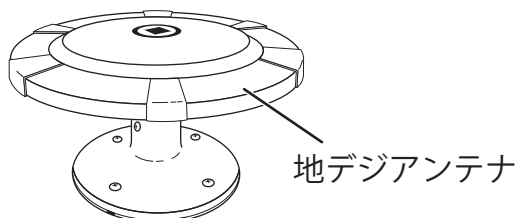


- ・ソーラーパネルは定期的に清掃してください。  
また、落ち葉などが多く載ってしまうと、十分に発電できませんのでご注意ください。
- ・ソーラーパネルの清掃の際は、足元に十分注意してください。
- ・ソーラーパネルを踏んだり、手をついたりしないでください。  
割れると怪我をする恐れがあります。
- ・夏季と冬季では陽射しの強さや照射角度で充電量が変わります。

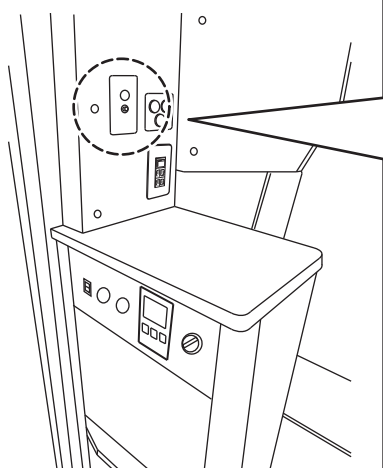
## 12. アンテナ



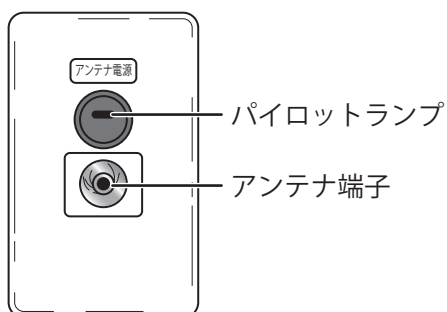
リヤテレビ用地デジアンテナの本体はルーフに設置されています。



コントローラーはシューズボックス上部に設置されています。



### コントローラー



メインスイッチを入れ、アンテナ電源のスイッチを「ON」にしてください。  
パイロットランプが青色に点灯したら使用可能です。



- 電波状況や立地によっては受信できない場合があります。
- 走行中は電波を一定受信できないためテレビの利用はご遠慮ください。

## 12. シャワー、洗面台

Op  
option

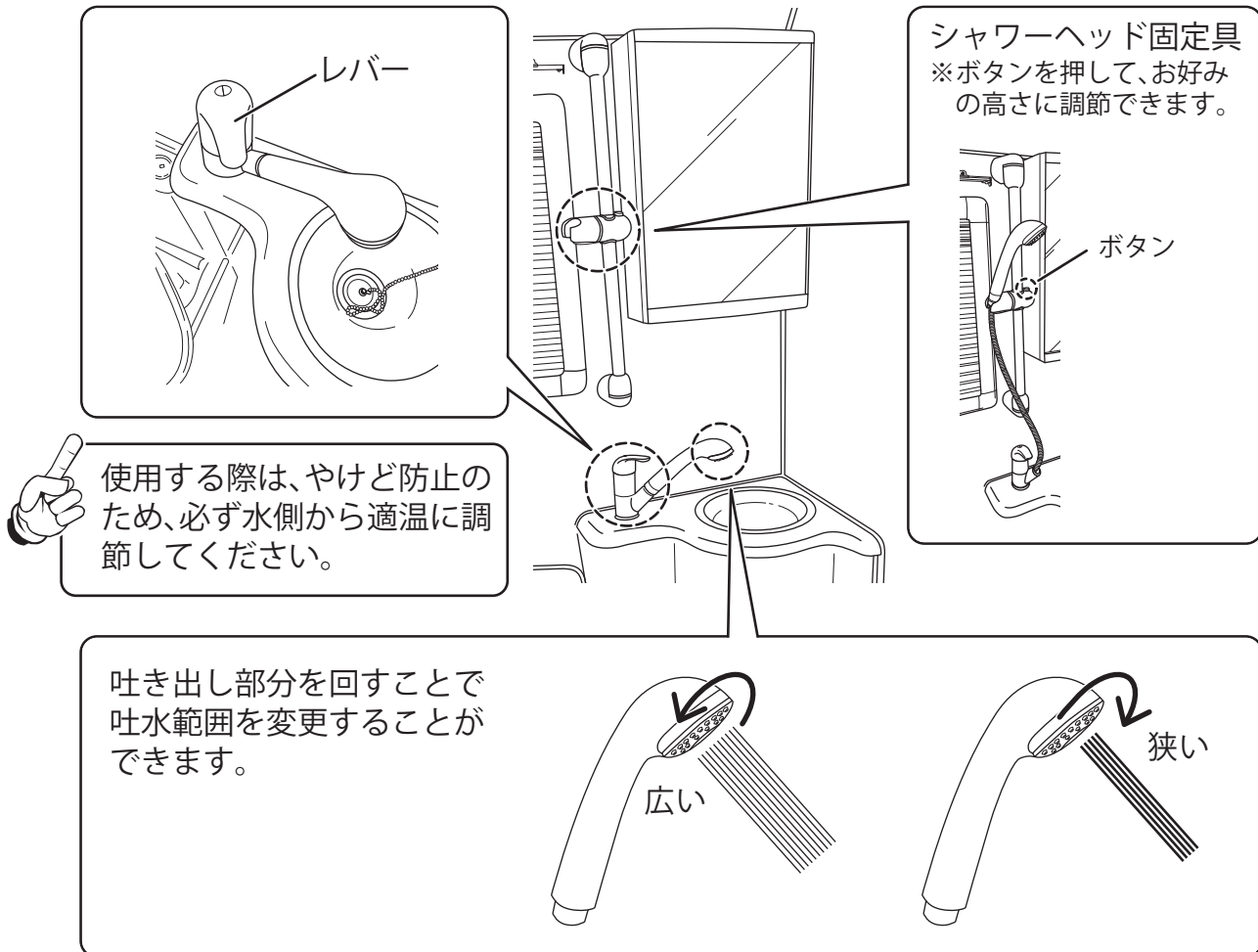


### シャワーの使いかた

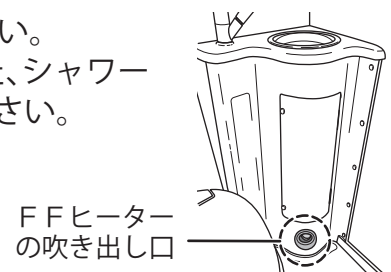
※車種によって取り付け位置と部品形状が異なります。

① ACボイラー  を作動し、温水の準備をします。 (→P.37)

② ボイラーの水が温まったら、レバーを操作して、シャワーから温水が出ることを確認します。



- 使用する前にFFヒーターの吹き出し口を閉じてください。
- 使用中は必ずシャワーカーテンを使用してください。また、シャワーの水をなるべく扉の内側にかけないように注意してください。(室内に漏水する原因になります。)
- シンクに向かって吐水する場合は、吐水範囲を狭めて使用してください。水の勢が強すぎると、シンクから水が溢れますので注意してください。
- 冬期に長期使用しない場合は、ポンプの電源を切った状態で蛇口を開けて、ホース内の圧抜きをしてください。(圧抜きをしないと、ホースが凍結し破損する原因になります。)



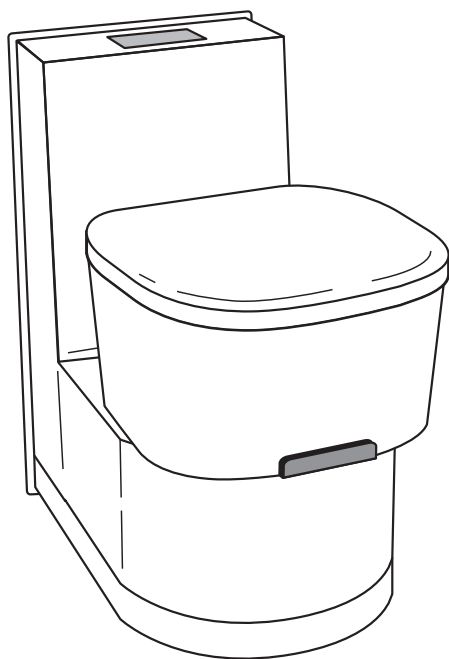


## 12. カセットトイレ



カセットトイレの取り扱い<使用前の準備><使用後の処理のしかた>については、付属のカセットトイレの取扱説明書に従い、要領を守って使用してください。

### カセットトイレを使用するとき



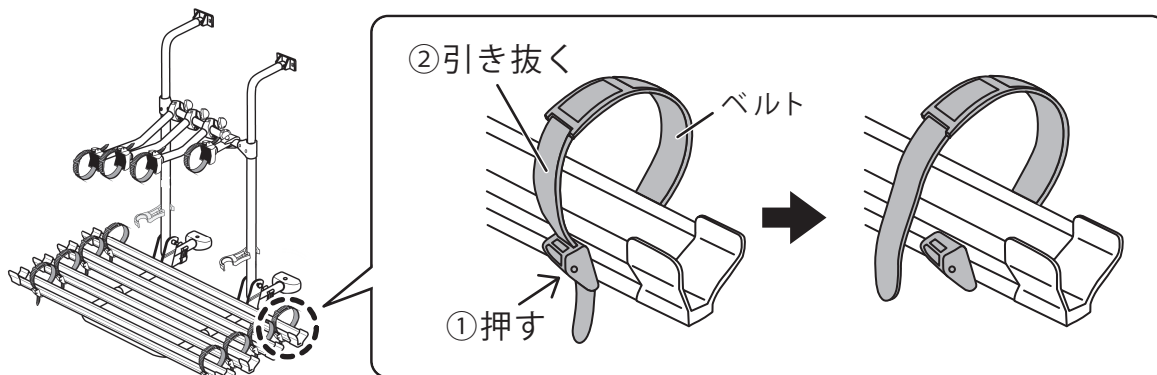
- ①メインスイッチを「ON」にします。
- ②付属のカセットトイレの取扱説明書に従い、要領を守って使用してください。

## 12. サイクルキャリア



### タイヤの固定のしかた

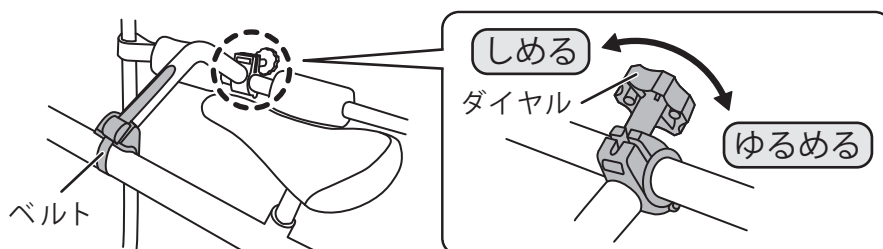
付属のベルトを下図の要領で引き抜き、自転車のタイヤをレールに乗せるときに再度挿し込んで、しっかりとタイヤに固定します。



※イラストはオプションで2台追加した場合

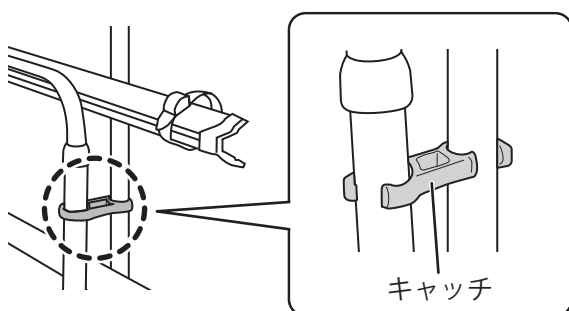
### サドル・フレームの固定のしかた

付属のアームを使用して固定します。固定後は自転車がグラつかない事を確認してください。



### 使用しないとき


土台を起し付属のキャッチでしっかりロックしてください。



- キャリアの上に乗ったりぶら下がったりしないでください。破損したり怪我をする恐れがあります。
- 走行中は手順をよく守り自転車をしっかり固定してください。走行中自転車が脱落すると重大な事故を招く可能性があります。
- 各ボルトを定期的に点検してください。
- キャリアの上には、自転車以外のものを乗せないでください。落下物の事故につながる可能性があります。

# 13. トラブルシューティング



| 症 状                    | 原因と対処方法  | 参照<br>ページ   |
|------------------------|--|-------------|
| <b>走行時</b>             |  |             |
| ハンドルが<br>ふらつく          | タイヤの空気圧を確認してください。  | 3           |
|                        | 車体の形状が風を受けやすいため、強風時は減速して走行してください。  | 4           |
|                        | 上記以外の場合は最寄のディーラーにご相談ください。  | -           |
| 異音がする                  | 各収納庫内部のお荷物の状態を確認してください。  | -           |
|                        | キャンピング部以外から異音がする場合は、最寄のディーラーにご相談ください。  | -           |
| <b>エントランスドア・外部収納扉等</b> |  |             |
| 水漏れする                  | ドアロックはしっかり掛かっていますか？<br>半ドアによる水漏れ防止のためロックをかけてください。  | 12          |
|                        | 年数を重ねるとシーリングやパッキンが劣化します。<br>早めのメンテナンスをおすすめします。   | -           |
| 鍵が固くなる                 | 定期的なグリスアップ等のメンテナンスをおすすめします。  | -           |
| <b>ダイネットテーブル</b>       |  |             |
| 脚のロックが<br>効かない         | 操作方法を誤った場合、部品が破損し、ロック機能が正常に働くなる場合があります。<br>最寄の販売店にご相談ください。   | 18          |
| <b>照明器具</b>            |  |             |
| 照明の明かりが<br>暗くなってきた     | サブバッテリーの電圧が低下しています。充電を行ってください。   | -           |
| 照明が<br>点灯しない           | メインスイッチと照明スイッチが両方ともONになっていますか？   | 22,25       |
| <b>ラピッドモード充電</b>       |  |             |
| 充電しない                  | サブバッテリーのカットスイッチ  が「OFF」になっていませんか？<br>カットスイッチを「ON」にしてください。 | 30          |
|                        | ヒューズが飛んでいませんか？<br>ヒューズが飛んでいる場合、最寄の販売店にご相談ください。   | -           |
| <b>外部充電</b>            |  |             |
| 充電しない                  | 外部電源コードの接続を確認してください。   | 26          |
|                        | ACコンセントのパilotランプは点灯していますか？<br>点灯していない場合はブレーカーが落ちている可能性があります。   | 27,30       |
|                        | ブレーカーを上げてもすぐに落ちる場合は、最寄りの販売店にご相談ください。   | -           |
|                        | 充電容量切替スイッチが「80%充電」の場合、サブバッテリー残量が80%以上では外部充電されません。充電容量切替スイッチを「100%充電」にするか、サブバッテリー残量が75%以下まで消費すると外部充電を再開します。                                   | ハイパー<br>EVO |
| <b>ケアモード充電</b>         |  |             |
| 充電電流が<br>少ない           | 電子機器を使用していませんか？<br>電子機器を使用すると、充電電流が少なくなります。<br>充電速度を上げたい場合は、電子機器の使用を止めてください。   | ハイパー<br>EVO |
| 充電しない                  | 充電容量切替スイッチが「80%充電」の場合、サブバッテリー残量が80%以上ではケアモード充電されません。充電容量切替スイッチを「100%充電」にするか、サブバッテリー残量が75%以下まで消費すると外部充電を再開します。                                | ハイパー<br>EVO |

# 13. トラブルシューティング



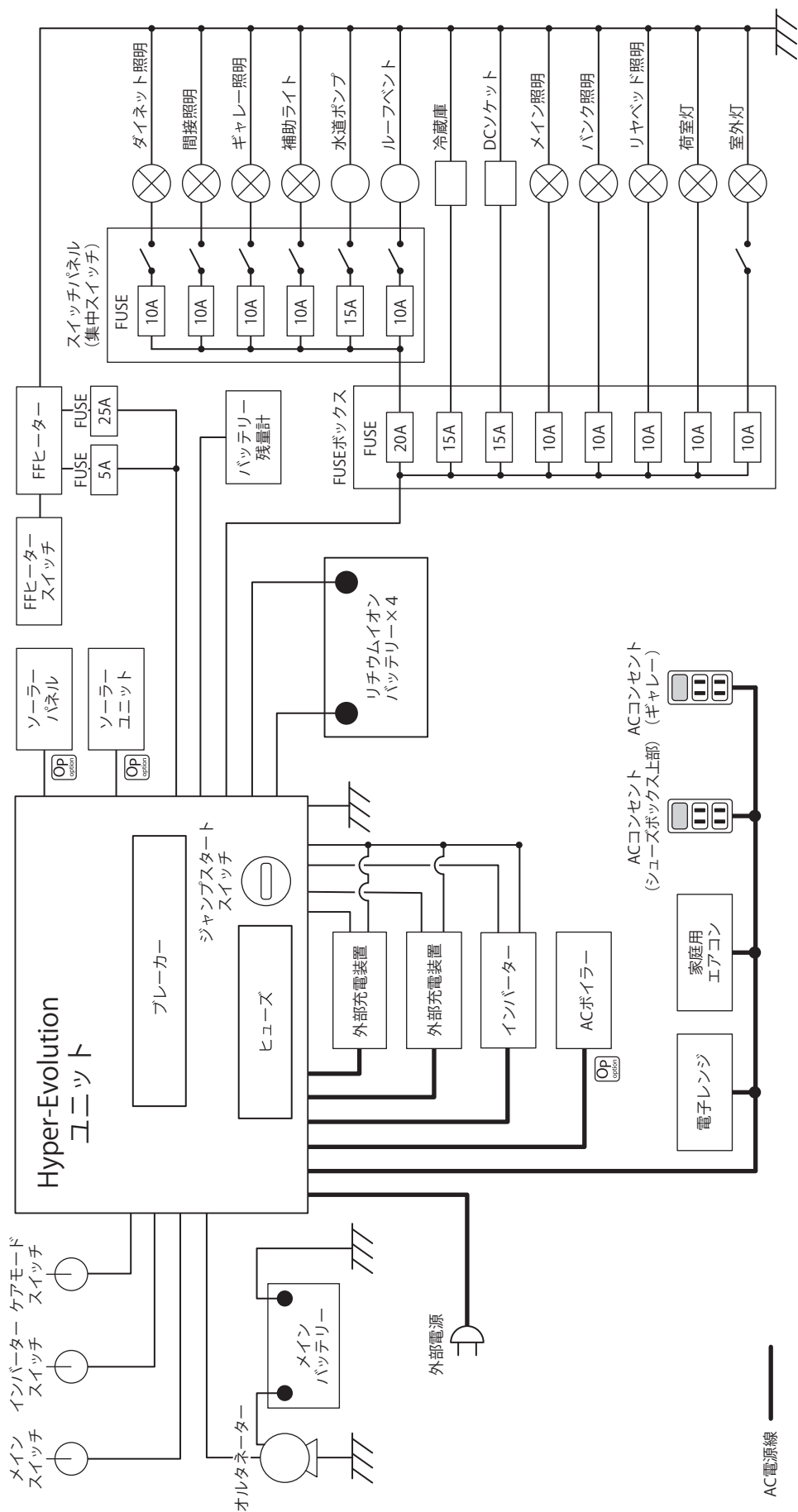
| 症 状                                  | 原因と対処方法  | 参照<br>ページ    |
|--------------------------------------|--|--------------|
| <b>インバーター</b>                        |  |              |
| 使用できない                               | サブバッテリーの電圧が低い場合は、使用できないことがあります。十分に充電してから使用してください。  | -            |
| <b>サブバッテリー</b>                       |  |              |
| すぐに減る                                | 充電は十分に行われていますか？<br>お出かけ前、ご帰宅後に外部充電を利用し充電を行ってください。長期のお出かけの場合、一日に一度は走行充電、または外部充電などで100%まで充電してください。   | -            |
|                                      | 長年使用されてバッテリーが寿命になった場合は、最寄りの販売店でバッテリー交換を依頼してください。   | -            |
| <b>混合水栓</b>                          |  |              |
| 水が出ない                                | 水道(ポンプ)スイッチは「ON」になっていますか？<br>またそのスイッチの上が赤く点灯していませんか？   | 25           |
|                                      | 点灯している場合はヒューズ切れです。<br>何度も切れる場合は最寄の販売店にご相談ください。   | -            |
|                                      | 給水タンクのホースが底まで挿入されていますか？  | 31           |
| 水が漏れている                              | 年数を重ねるとシーリングやパッキンが劣化します。<br>早めのメンテナンスをおすすめします。最寄りの販売店にご依頼ください。                                     | -            |
| <b>ボイラー <small>Op option</small></b> |  |              |
| 水が温まらない                              | 本体内部のお湯が60℃を越えると安全装置が働きお湯が沸かなくなります。<br>本体中央のリセットスイッチを押して、再度様子を見てください。                              | 38           |
|                                      | 外部電源を利用し水を沸かす場合、ボイラースイッチはONになっていますか？<br>また、パイロットランプが点灯していますか？                                      | 37           |
|                                      | ONにしてもパイロットランプが点灯しない場合は、ブレーカーまたは外部電源コンセントを確認してください。  | 30           |
| <b>冷蔵庫</b>                           |  |              |
| 冷えが悪い                                | 冷蔵庫内に物が入りすぎていませんか？<br>冷蔵庫内いっぱいに入ると冷えが悪くなります。   | -            |
|                                      | 温度設定を確認してください。<br>夏場は特に低めに設定してください。  | 41           |
| 走行中扉が開く                              | 扉の収納部に重たい物を入れすぎていませんか？<br>重たいものは庫内奥に入れてください。   | 41           |
| エラーランプが点灯する                          | エラー内容を確認してください。<br>詳しくは販売店にご相談ください。  | 41           |
| <b>電子レンジ</b>                         |  |              |
| 作動しない                                | バッテリーのみで動作させている場合は、電圧が低下している可能性があります。<br>十分に充電を行ってください。  | -            |
|                                      | 電子レンジ内部が高温になり、制御装置が働いている可能性があります。<br>しばらく冷ましてから再度使用してください。   | 44           |
| <b>家庭用エアコン</b>                       |  |              |
| 電源が入らない                              | メインスイッチ、インバータースイッチが「ON」になっていますか？<br>「ON」になっている場合は、ブレーカーが落ちていないか確認してください。                           | 22,27,<br>30 |
| 電源が落ちる                               | 家庭用エアコンの使用中に電子レンジやドライヤーなどを使用すると電源が落ちる場合があります。電子機器の電源を「OFF」にしてブレーカーを確認するか、インバータースイッチを再度「ON」にしてください。 | 27,30        |



# 13. トラブルシューティング

| 症 状  | 原因と対処方法  | 参照<br>ページ   |
|--|--|-------------|
| <b>FFヒーター</b>                                  |  |             |
| 作動しない  | サブバッテリーの電圧が低下している場合は作動しません。<br>エンジンをかけた状態で再スタートしてください。   | -           |
|  | 燃料が不足していませんか？燃料を入れてください。<br>燃料計の目盛が3分の1以上あることをおすすめします。   | -           |
|  | 燃料に添加剤や水抜き剤を混入していませんか？<br>故障の原因になりますので、燃料がなくなるまで稼働しないでください。  | -           |
| 作動表示灯<br>が点滅する<br>(ディーゼル車)                     | エラー内容を確認してください。<br>詳しくは販売店にご相談ください。  | 46          |
| 稼働後すぐに<br>停止する<br>または<br>風量が弱くなる               | 吹き出し口が荷物で塞がっていませんか？<br>吹き出し口が荷物などで塞がっていると、オーバーヒート防止のため、ヒーターは<br>停止します。   | 45          |
|  | 吹き出し口が吸気口の方へ向いていませんか？<br>吸気口からの空気温度でサーモスタットが働きます。<br>吹き出し口を吸気口以外の方向に向けてください。   | -           |
| <b>サイドオーニング <small>Op<br/>option</small></b>   |  |             |
| オーニングが<br>しっかり<br>納まらない                        | 収納するときに回転方向を誤ると本体に納まりません。<br>「時計回り」で収納してください。  | 54          |
|  | 脚の収納方法を誤ると本体に納まりません。<br>収納時は注意してください。  | 54          |
|  | 収納時に巻取りが偏ってしまった可能性があります。<br>一度すべてオーニングを出し、少しずつ巻き取りながら、脚の移動を細かく行い収納<br>してください。  | -           |
| 風にあおられて<br>オーニングが<br>壊れた                       | 巻き取り可能な場合は収納し、最寄の販売店にて点検を受けてください。  | -           |
| <b>ソーラーチャージャー <small>Op<br/>option</small></b> |  |             |
| 充電しない  | サブバッテリーの残量を確認してください。バッテリーが一定量を満たしている場合、<br>過充電防止が働き充電を中止しています。   | 23          |
|  | 充電容量切替スイッチが「80%充電」の場合、サブバッテリー残量が80%以上では<br>ソーラー充電されません。充電容量切替スイッチを「100%充電」にするか、サブバッテ<br>リー残量が75%以下まで消費するとソーラー充電を再開します。 | ハイパー<br>EVO |
|  | 日陰に停車していませんか？ 直射日光が当たる場合に発電します。<br>車両の位置を移動してください。   | 55          |
|  | ソーラーパネルの上に落ち葉などが多くついていますか？<br>清掃を行ってください。  | 55          |
|  | サブバッテリーの寿命が近づいていませんか？<br>サブバッテリーの寿命が近づき能力が落ちていると充電しません。  | ハイパー<br>EVO |
| <b>テレビ <small>Op<br/>option</small></b>        |  |             |
| テレビの映りが<br>悪い・映らない                             | アンテナのブースターコントローラーの電源が入っていますか？<br>電源が「ON」になるとパイロットランプが青色に点灯します。   | 56          |
|  | テレビ本体の地域設定は出来ていますか？<br>お出かけ先の地域に合わせ毎回設定が必要です。<br>設定の方法はテレビの説明書を参照してください。   | -           |
|  | 地域や駐車場所によっては受信しにくい場合があります。   | -           |

# 14. 電気系統図





# MEMO

---





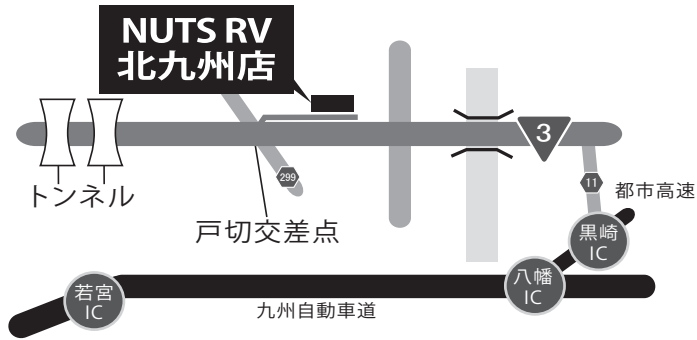
# ナッツRV 店舗案内



## 北九州店

〒811-4342  
福岡県遠賀郡遠賀町大字尾崎1704-3  
<営業時間/10:00~20:00 定休/火曜>

**TEL 093-293-8888 FAX 093-293-8844**



## 札幌店

〒004-0801  
北海道札幌市清田区里塚1条3丁目2-21  
<営業時間/10:00~20:00 定休/火曜>

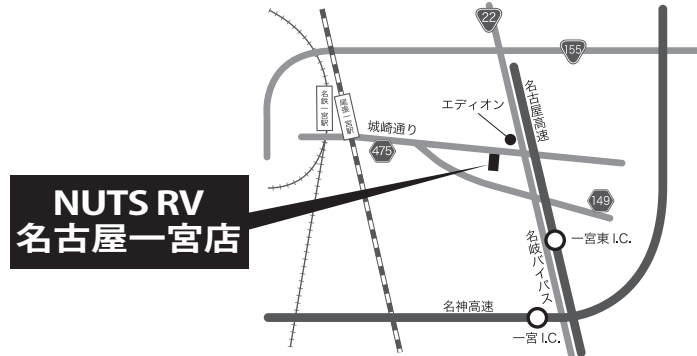
**TEL 011-883-8899 FAX 011-883-8897**



## 名古屋一宮店

〒491-0871  
愛知県一宮市浅野字青石21番地  
<営業時間/10:00~20:00 定休/火曜>

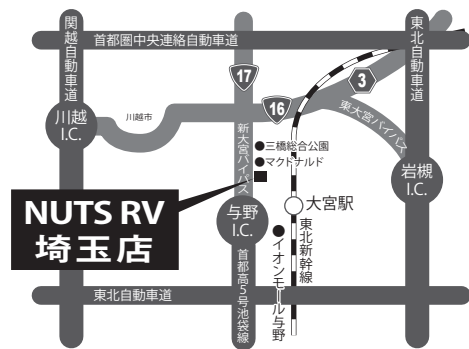
**TEL 0586-75-7272 FAX 0586-75-7273**



## 埼玉店

〒331-0052  
埼玉県さいたま市西区三橋5丁目1705  
<営業時間/10:00~20:00 定休/火曜>

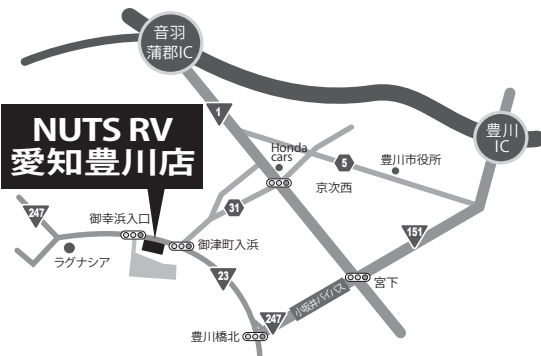
**TEL 048-625-7722 FAX 048-625-8877**



## 愛知豊川店

〒441-0315  
愛知県豊川市御津町大草外新田1-3  
<営業時間/10:00~20:00 定休/火曜>

**TEL 0533-77-2222 FAX 0533-76-5333**



## 神奈川湘南店

〒254-0012  
神奈川県平塚市大神1619-1  
<営業時間/10:00~20:00 定休/火曜>

**TEL 0463-80-8872 FAX 0463-80-8880**



## 京都店

〒614-8215  
京都府八幡市戸津堂田15-1  
<営業時間/10:00~20:00 定休/火曜>

**TEL 075-971-7272 FAX 075-971-7722**



## 大宰府インター店

〒818-0131  
福岡県太宰府市水城2丁目10-1  
<営業時間/10:00~20:00 定休/火曜>

**TEL 092-918-7272 FAX 092-918-7222**



※この取扱説明書は2022年8月以降に製造された車両にのみ適用されます。  
本書に記載されている内容は予告なく変更する場合があります。